農女の友

正九年十一月廿八日印刷納本大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
正九年十二月一日發行（毎月一回一日發行）

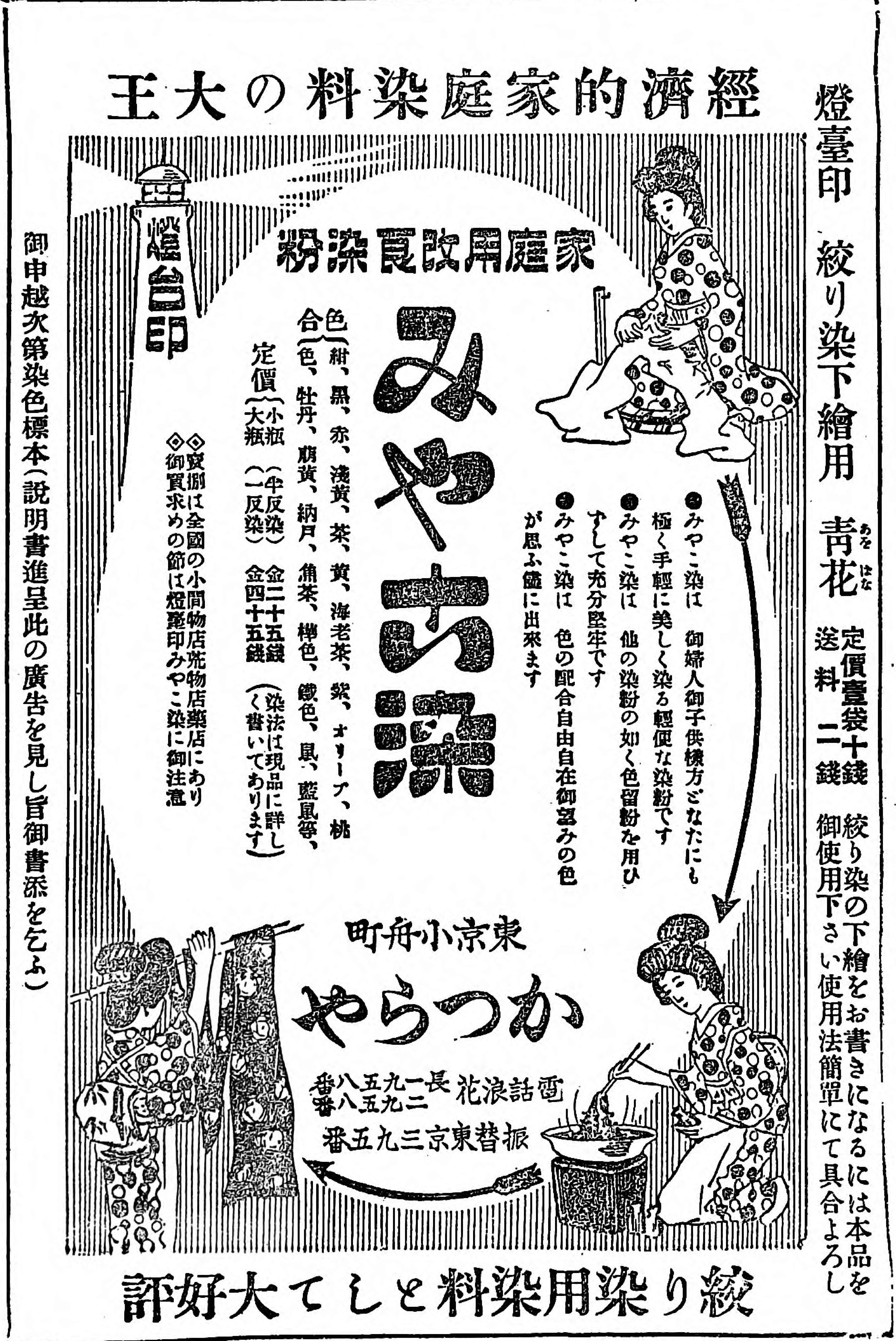
3巻12号

第三巻　十二月　第十二號

農女會中央部發行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友廣告に據る旨御書添へを乞ふ○



お歳暮の
贈答品

誰人にも喜ばれる
ホーカー液
肌アレ止めとして

朝の洗面後
水仕事の後
お出掛の前
に離されぬ
隠化粧料

定價 小瓶二十八錢、徳用瓶五十八錢、家庭用大瓶一圓十五錢、送費內地六錢

ホーカー化粧品本舗
東京神田和泉橋
堀越嘉太郎商店
振替東京一五六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女の友 十二月號 目次

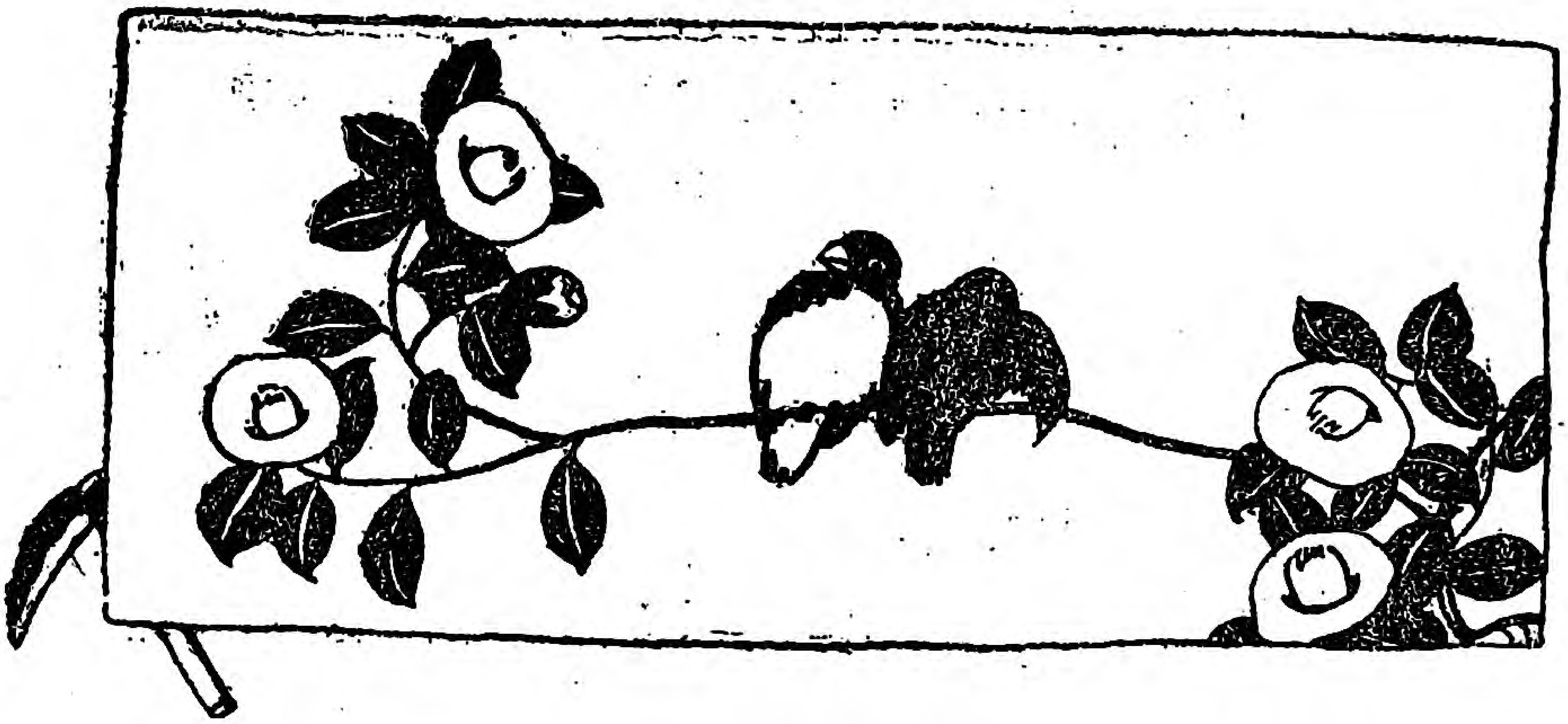
大正九年十二月一日發行

○表紙「勞働の神聖」……田代紫光筆
○口繪 明治神宮眞景 / 國勢調査と處女會

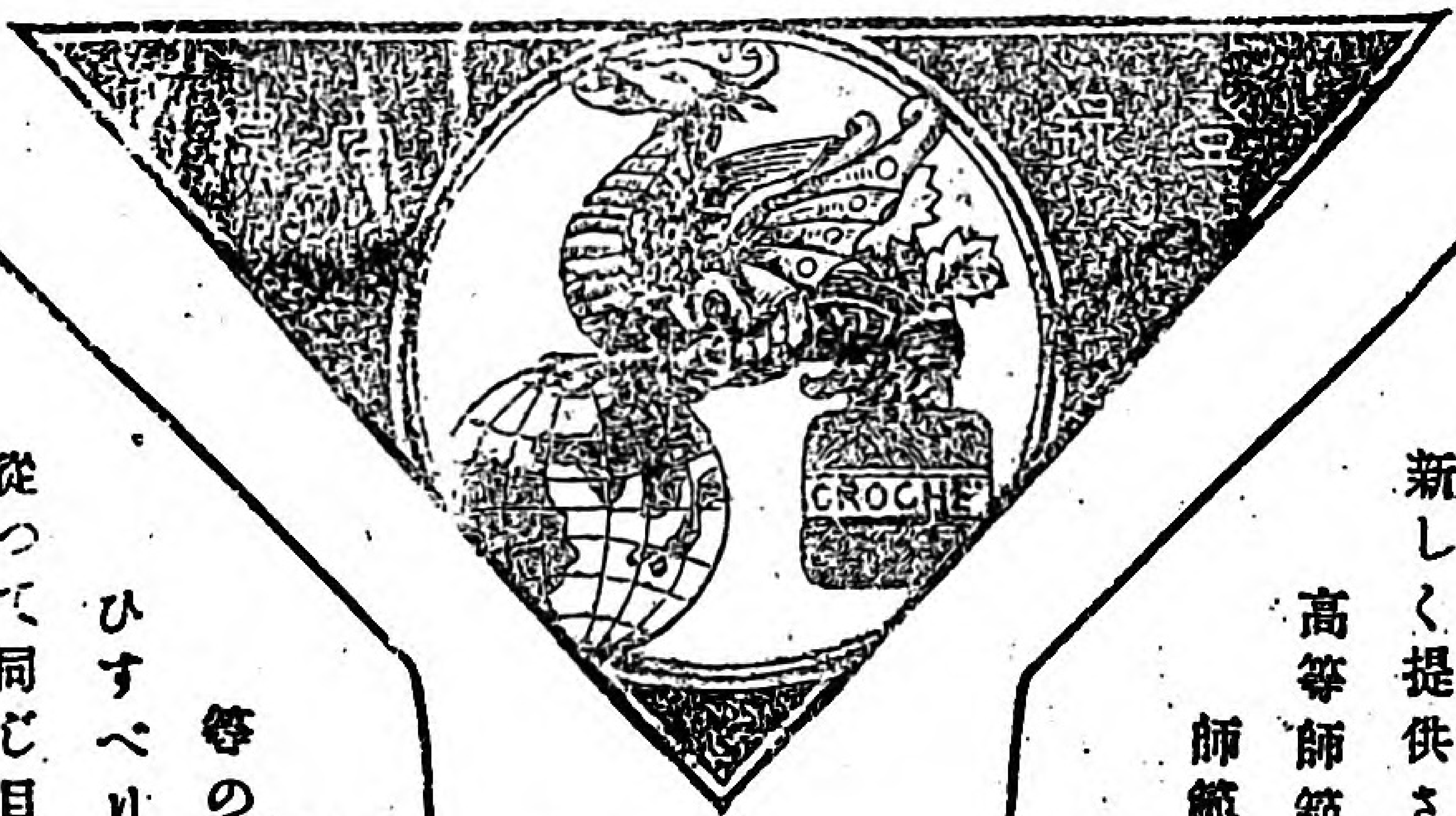
◉記事◉

▽卷頭(年の暮れ)……一
▽女教員大會と處女會……二
▽地方處女の爲に身心を捧げらるゝ指導者……本會理事 山脇房子……六
▽自然に生きよ……陸軍中將 本會評議員 堀內文次郎……八
▽好りよき半身となれ……文部省督學官 本會評議員 乘杉嘉壽……一二
▽地方の處女へ……內務省 玉井廣平……一三
▽處女會と一夜講習……文部省囑託 山本瀧之助……一六
▽三重縣地主婦人會……一八
▽明治神宮鎭座祭の夜に……二〇
▽各地方の子守歌……二〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



▽女教員大會招待記……三
▽家庭學校参觀記……ひろの……一四
▽東亜綿糸紡績會社の辨天祭……一八
▽年の暮……一九
▽安來情調……一九
▽冬枯の野……二一
▽或夜の夢（小品）……天野藤男……二三
▽友情（その四）……深緑……三六
▽臺所から……三六
▽良妻とは何の事ですか……みどり……四一
▽皆さんからのおたより……四二
▽理想形櫛入の作り方……四三
▽全國處女會一覽（續）……四七
▽處女新報……四九
▽處女文壇……五〇
▽處女歌壇……五一
△處女俳壇……五一
▽誌友くらぶ……五二
▽考へ物……五六
▽編輯だより……五六



何もかもが改造されて參りましたのに、御家庭用品の中でも大切な縫糸が、古い時代の姑息の品で、お間に合ふ筈はありません。皆様の御要求により十分研究を重ねて、新しく提供された、殆ど理想に近い此のキリン縫糸をお試み下さい。東京女子高等師範學校、共立女子職業學校、戸板、渡邊、和洋各裁縫女學校、全國女子師範高等女學校、三越呉服店、白木屋呉服店を始め斯道の大家、實際家の御證明、御推賞を頂き多々御用命を承つて居りますのも此の

新しく出來たキリン縫糸

が、從來の糸に比して、非常に優れた點を持つて居るからです。上等の綿糸を紡いでありますから引が強く、瓦斯燒シルケット掛ですから縫ひすべりが非常によく、細さも丁度使ひ加減で絹小町の代りにもなります。從つて同じ目方で從來の糸よりも、三割五分は長くなつてゐます。一方販賣にも多くの人手を用ゐず直接皆様にお頒ひするのですから、旁々非常に割安になつて居ます。四時折々の御贈答品として品質の良い包裝の瀟洒なキリン縫糸をおすゝめ致します。

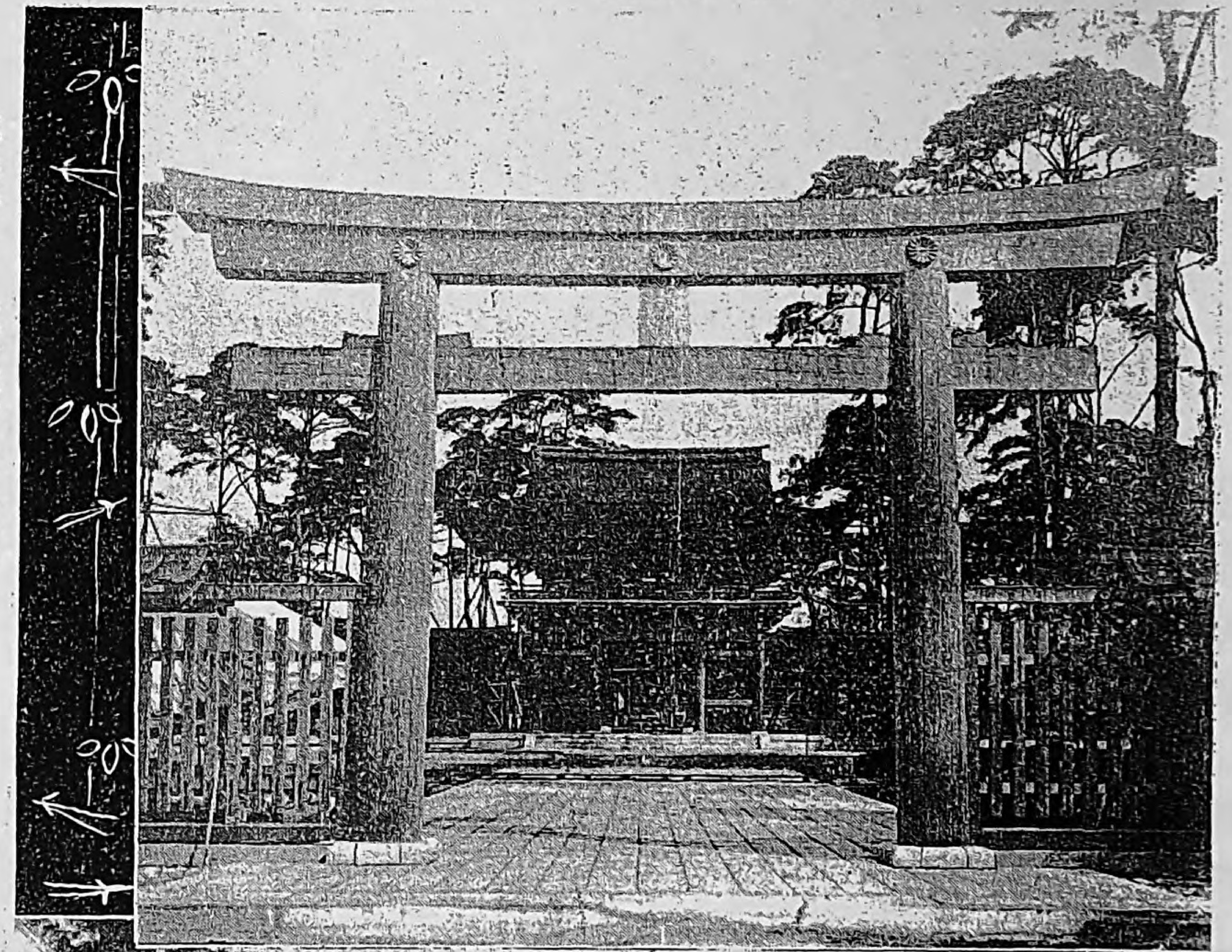
東亞綿絲工業株式會社

東京市日本橋區堀江町

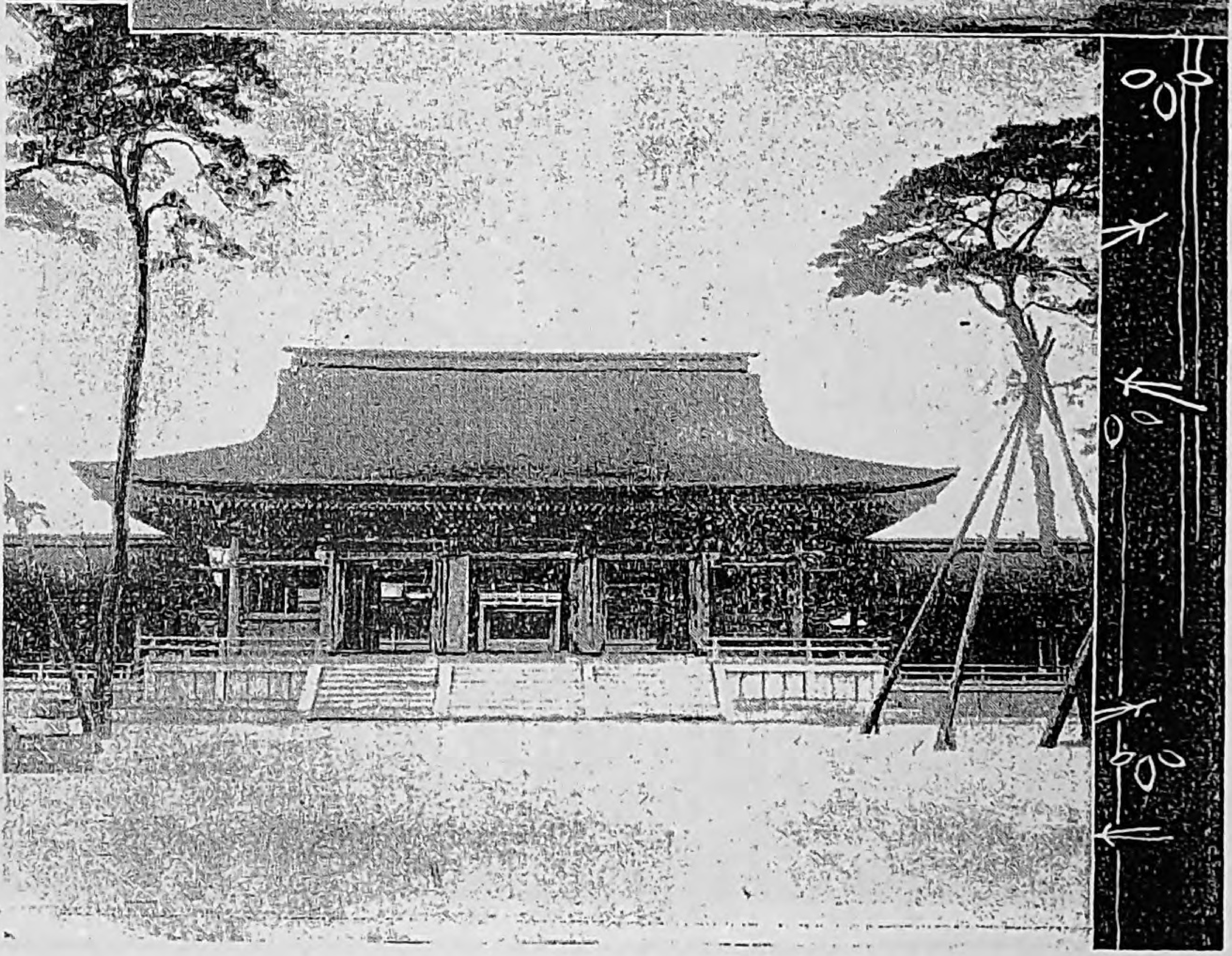
―(三越・白木・其他有名呉服店・雑貨店等にあり)―

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

明治神宮の壮観



大鳥居より第三楼門を望む



拝殿

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

國勢調査に盡力したる處女會

福島縣河沼郡新郷村鹽坪處女會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

十二月一日發行

年の暮れ

あら玉の年の終りも近づきぬ
暑し寒しといひ暮らす間に

明治天皇御製

流るゝ月日に關守はなく、ことしも最早のこり少くなりました。皆さんは過去一年を振り返つて何を思ひ浮べますか。

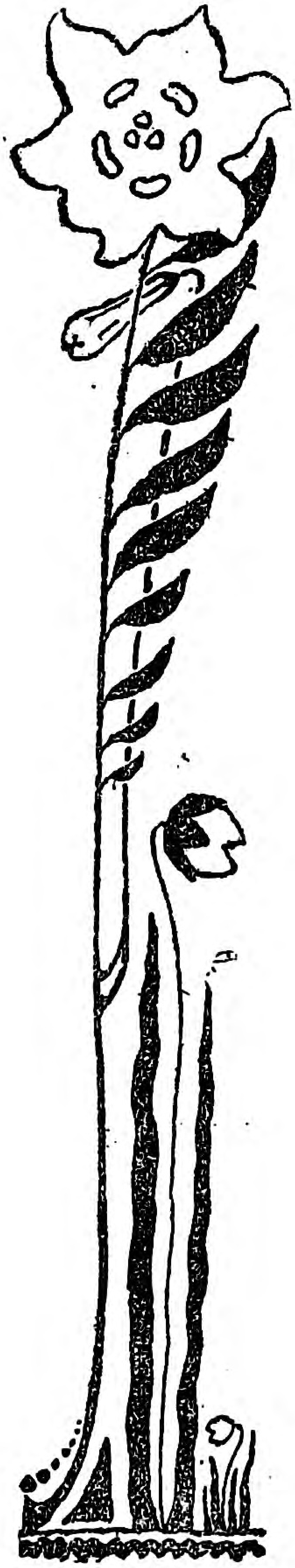
世の人多くは、年の逝くを悲しみ、過去一年の仕事の捗取らぬのを嘆いて愚痴こぼしますが、私共は、皆さんと一所に、この一年は、強く優しくまじめに働きましたから、逝く年に何の未練もないのです。あゝ年よ逝け、樂しかりし大正九年よ早く逝け、そして更に樂しかるべき大正十年の春よ來れ。

實際をいふと我々には、新年も年の暮れもないのでも、年中正月の樣にたのしく、元氣で生々とした心でゐなければなりません。殊に年若い乙女は希望に燃え光榮に輝いてゐます。年を迎へる毎にその榮光に近づきます。皆さんと共に、來年は一層道を修め業にいそしみませう。あれもうお猿が遁げ支度をして、明けの◎鷄が鳴いてゐます。

社説

女教員大會と處女會

（一）文部省と處女會



帝國教育會が主催となつて、去る十月十九日から四日間第二回全國女教員大會を東京一ツ橋の帝國教育會で開いたことは諸子の知ることであらう。同會の爲に全國各府縣から上京された小學校女教員は總計百七十餘名の多きに達した。是等女教員は何れも各府縣郡市の女教員を代表して來られた有力なる方で、思想上、實驗上共に多くの智識を有せられ、四日間の會議には正々堂々と意見を發表し十分の研究討議をも行つて、誠に近來にない有意義の會合なるを思はしめた。

女教員大會には、種々の問題が研究審議されたのが、此に我等の特筆せねばならぬことは、この會に對して文部省が

「處女會の指導上女教員の特に盡力すべき事項並に其の方法如何」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

といふ諮問事項を提出されたことである。

(二) 女教員と處女會

青年團に對しては、最近內務文部大臣が、將來はなるべく團員中より會長團長を選出する樣にとの訓令を發したが、然し地方の實情に照らし、青年の現狀に稽へ、どうしても矢張小學校長始め職員方の直接間接の配慮に俟たねば、團體の運用完きを得ないことは、少しく地方の事情を知るものゝ熟知する所である。處女會は青年團に比して、歷史新らしき上に、男子とは事情も違ふので、青年以上に教員方の御世話に俟たねばならぬことは、處女會婦人會員の十分に御承知のことゝて、又現在この樣にして、施設事業を經營しつゝある次第である。

然し我等がお願ひ致したいのは、特に女教員の方々が、同性の關係から、土地の姉妹たちの擁護に力を致されんことゝて、この事に就ては本誌も多年社說其他に於て反復した次第である。然るに、今偶々文部省から、今申す樣な諮問事項が提出されたといふことは、文部省が處女會の指導に就て、女教員各位に期待せることの如何に甚大なるかの證據を示された譯で、女教員各位は種々御多忙で御迷惑のことゝは存ずるが、社會國家の爲に、一層の勇氣を以て御盡力あらんことを切望する次第である。

(三) 夜に入つて猶研究

然らばこの諮問事項に就て、女教員大會は、如何なる答申を文部當局に致したかといふに、先づ二百七十余名の中より委員十二名を擧げ、豫め諮問案に對する、研究審議を行つたのである。予は澤柳教育會長が我處女會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

中央部評議員たる關係より、特に該委員會ふも立會のことを許されたので、此等委員が、如何に此の問題に就て十分の意見を戰はされたかをも知ることを得た。委員會は、十九日の三時から開かれたが、各種の討議が行はれ遂に點燈時に達したが、尙終りを告げず、遂に夜に入つて始めて大體の結了を見た、予は其の當日の光景を思ふて今だに、何んとも言へぬ愉快な感じに打たれざるを得ない。

委員會に於て決定せる議案は二十日の總會に提出せられ、多少の修正意見も出たが、大體原案通り可決されたその答申案は左の如くである。

◎答申案の内容

一、處女會ノ指導上小學校女教員ノ特ニ盡力スベキ事項

1. 實際生活ニ必要ナル知識技能ノ補習
 イ、修身（女子ノ本分ヲ知ラシメテ自覺アル女子タラシムル方面）
 ロ、作法
 ハ、家事（經濟、衞生、育兒、看護、料理等）
 ニ、裁縫
 ホ、手藝（袋物、編物、絞染等）
2. 體育奬勵
 イ、運動會、登山、遠足、見學旅行ノ監督指導
 ロ、衞生思想ノ向上普及（一般的及婦人衞生）
 ハ、會員ノ身體檢査（醫師ト協同シテ）
3. 處世上ノ指導
 身ノ上ニ關スル實際上ノ指導
4. 風紀ノ改善
 イ、質實勤勉等美風ノ振興
 ロ、方言ノ矯正
 ハ、俚諺ノ改善
 ニ、共同生活ノ規約特ニ時刻ノ確守
5. 地方貢獻
 イ、産業ノ幇助
 ロ、公益事業慈善事業ノ援助
6. 趣味ノ向上
 音樂、園藝、挿花、點茶等ノ實習指導

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

二、同方法

1. 講習會若シクハ講習會ヲ開催シテ講話ヲナシ或ハ實習ヲ指導ス其他品評會、展覽會等ヲモ開ク

イ、期日

地方ノ狀況ニ依リ力メテ好機ヲ利用シ會合ノ度數ヲ多カラシム

ロ、場所

學校、神社、寺院、等

2. 教授ハ適當ノ教科書ヲ用ヒ又ハ印刷ヲ以テシ、便宜通信教授ヲモナス

3. 雜誌、書籍ヲ選擇シテ回覽セシメ適宜之ガ指導ヲナス

4. 會員ノ家庭ト連絡ヲ圖ル

5. 青年團及各種ノ婦人團體トノ提携ニ力ム

(四) 注目すべき二要項

答申案の内容は、我等の平素力說せることで、我等は、我等の主張の略々女教員の意見と合致しつゝありしことを確め、窃かに愉快の情に堪へない。殊に第二項の(ハ)會員の身體檢査の如き、(二)の方法の五項の青年團との連絡を通ずる急務の如き、女教員各位の識見の我等の唱道と全く符節を合せるものあるを知り一層の喜悅を覺えたのである。尚我が處女會中央部に於ては、この機會に於て、地方女教員各位との連絡を圖ると共に、親しく地方の實際を傾聽したいとの主旨で、二十一日の午後三時から、大會出席の女教員各位を招待し、聊か茶菓を呈して、隔意なき懇談をも遂げたのであるが、其は別項に記載してあるので、熟讀されたいのである。終りに臨み、全國女教員各位の益々健全にして、地方教化の爲に貢献せられんことを祈る次第である(アマノ生)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

地方處女のために身心を捧ぐる指導者

山脇高等女校校長
本會理事　山脇房子

○

先頃帝國教育會に於て開かれました女教員大會に參集された方々が、誠に確乎とした信念を以て、其地方、のために身心をくだかるゝその態度の立派さに、つく〴〵感服致しました。殊に、處女會中央部の招待會の席に於て、處女會に關する經驗談をされたお方々が、實に眞面目と熱心を以て眞意ある處女の指導に心を傾け、その方法に就いても一方ならぬ工夫をして居る有樣が歴々と見えて、中央部としても非常に參考とすべきものがありました。

其一例として、新潟縣から出られた方のお話に日曜に處女を集めて敎へるに就いて、裁縫、手藝の技術ばかりでなく、ぼろの繕ひから洗濯まで實用的の事を授けて、尚又、精神修養にも心を用ひ、又處女の喜ぶやうに面白いお噺を每週聞かせて、其お噺の面白い處で句切つて又其次の日曜に聞かせるといふ風にすると、生徒はお噺を聞き度いといふ興味のために、處女會に出席するのを樂しみにして、いろ〳〵の差支を繰合せてまでも處女會には出席するといふ意氣込みになつて日增に人數が多くなつたといふお話でしたが、これなどは誠に結構な仕方で、面白味をもつて學ぶといふのは、敎へる人も敎へらるゝ人も、幸福た事であらうと存じます。

○

「好きこそ物の上手なれ」とは古へから言ひ來つた言葉で眞に味ふべき言葉でありまして、好きであれば必ず上手になります。つまり好きであるといふ事は上達といふ結果となるべき原因であると思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

何故に好きな事が上手になるかと申しますと、好きであれば必ず趣味を持つていたしますからであります。趣味とは平たく言へば面白味といふ意味であらゆる事をいたしますに當り面白いと感じて喜んでする事は其人の趣味に適した事をする時で面白いとか面白くないとかいふ其まゝが趣味の有無となるものでありますから、何事によらず面白味を以て稽古を致しますれば、眞に充實した立派な結果を見出すものであると思ひます。

學問、技藝其他何事によらず興味をもつてすると否とは非常な相違で、面白い面白いと心から喜びながら致しますれば割合に苦しみ少なく、常に愉快な心持で居て、知らず〳〵上達致すものであります。それに引かへて、嫌々ながら無理押しに致します仕事は自分としては堪へ難い苦しみをして、其骨折は如何に強くとも現れた所の結果は誠に微弱なもので「あれ程勵んでも效果が見へぬ」といふ不平の聲を發するより外に得る處もなく、徒らに勞力と時間とを費すのみであります。何事によらず教へる人も教へらるゝ人もこの心を失はず面白味をもつて教へ、面白味をもつて學ぶといふ事を常に心に止めて、興味中心の指導といふ事を努めましたなれば、容易に成績のよい訓練が行はるゝ事と存じます。

○

例へば食膳にのぼる料理にいたしましても其方法が拙い業でありましたなれば、如何に高價な材料を集めましても少しも美味しく頂けませんが、上手に調理いたしますれば一莖の野菜にも、言ふに言はれぬ味が出るものでありますから、人を指導する上にはこの呼吸を呑み込むといふ事が、最も肝要であらうと思ひます。その呼吸とはつまり教へらるゝ人に興味を持たせる事で生徒はどんな事をよろこぶであらうか、又生徒はどういふ風にしたら興味を持つであらうかといふ事を堪えず考へて居るといふ事は、指導者の位置にある人として最も肝心の事で、又最も親切な教へ方であると思ひます。

地方處女の指導者たる人が、此點に充分注意をされて興味中心の教授法をとられたらよろしいと思ひます

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

自然に生きよ

陸軍中將
本會評議員　堀内文次郎

□勞働の貴さ

あの恐ろしい世界の大戰爭の結果として、社會に殘つたものは、何であるかと申しますと、民族問題と婦人問題並びに勞働問題でありまして其中で婦人問題は特に騷がれて、英米のやうに進んだ國では、婦人參政權を得るやうになつた處もあつて婦人の地位は一日一日と高められて參りました。さういふ風に婦人が男子と同じ高さの地位に置かれまして、社會事業に從ふ事が大變偉いやうに聞えますが、それはたゞ外に現れた處だけてあつて、實際に婦人がどんなに自覺して來たかといふ事や内部にかくれた婦人の實力に就いてはあまり言はれて居ません。然し私の見た處では近來婦人の思想が著しく變つて來て根强い信念のもとに自覺して來た事に氣付きました。

英米の貴婦人間にも勞働の貴さを稱へ、勞働に趣味を感じ、從つて今までもつた事のない、鍬鎌を持つ事を主張する有樣となりました。活潑なアメリカの婦人が質素になつて、男子に劣らぬ勞働をする氣風が盛んになつたのみならず、巴里女として華美をもつて誇つたフランスの女ですら、非常に自覺して、進んで勞働に從ふやうな風が盛んになり、あの美しいパリー女が指の太くなつた事や勞働者のやうな手足になつたのを誇るやうな有樣となりました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

□自然に近づき土に親しむ

今度の戰爭の結果女子の趣味が一變されて、實際に近づいて、唯表面の形式にのみ動かされず自覺して來た事に注意して頂き度いと思ひます。さうして世界の婦人の風は自然に近づき土に親しむやうになりまして土に趣味をもつといふ事は卽ち自然に生きるといふ事になります。例へば園藝、殖林、牧畜等皆土に近づき自然に接する道理で、天地のなりたちも男は天で女は地で陰陽の起りからして自然であります。

自然のまゝであるといふ事は、人として最も幸福な事で自然に逆らつては人生の幸福は全然破壞されてしまひます。一寸外見幸福に見ゆるものでもそれが不自然であれば決して心の底から幸福を味ふ事は出來ませんのです。野にあつて自然に受けた幸福を捨てゝ都會に憧るゝ人の中で萬一成功して或は成金になり或は玉の輿に乘り、自動車などて驅けまわるものも、眞實の幸福ではなく、自然に從つて行く方の生活から見ると人爲的生活であつて危險であり、心配であり、誠に心許ないものであります。

□瑞穗の國として

眞に人生の幸福は何であるかと申しますと、常に滿足して居るといふ事でありまして、人を羨やまず、不平を言はず心が平和であるといふ事でありますから、眞の幸福を求むるには此點に着眼して一時の眼を樂しませる社會の誘惑に動かされず、虚榮に走らず自然に生きるといふ事を信條としなければなりませぬ、常にこの着眼點から眼を離さず眞面目に働けばつまり分に安んずるといふ事になります。

分に安んずるといふ事は一面消極的に聞えますが、眞實は積極的の意味であつて分に安んじなければ積極的の事業は出來ません。祖先が年來の事業を營み向さま〴〵の祖先の歷史を有する土地で、その業に勵みます〳〵發展するといふ事は誠に貴い事であります。田の草をとり、大根をぬき乍ら土に親しむ間に違大

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

なる文明は生まるゝものでありまして、さういふ自然に生きるといふことは歐米の婦人も憧れて居ます、然し歐米の風土は如何に努めてもなか〳〵その域に達し得ませんのに我國自然の風土は、すでに此の土に親しむには誠に都合のよい天の惠を受けてゐます。日本はその建國の始めから瑞穗の國として、五穀豊かにみのり農業國として、すべての理屈を脱して土に親しみ、野に育なはるべく出來てゐます。

三千年來大和民族はみづほによりて形づくられ代々その血を受けついでゐます。これに反して歐米の民族は肉で作られその血で出來てゐます。日本婦人の温和な性質を特有してゐるのも、大和民族の特徴で豊けき自然の惠によつて作られたものと思はれます。

□神より多く與へられた惠

虎や狼の如き猛獸の周圍は馬や鳩のやうに平和てありません、その不安な狀態に堪えずおそはるゝために作られた性質があのやうに、猛々しく荒々しい性質となつて代々遺傳して猛獸としての素質を備へるやうになり、平常人に養はれて平和である鳩や家畜の類とは一寸見ただけでも非常な相違のあるのは、單に動物ばかりてはなく人間にも例があります。

これは理科學から研究しても立派に證明されてゐますが、そればかりでなく、普通の人も常に感じてゐる事でありまして、日本の婦人が平和の性質を備へて居ることは、土肥え、草木豊かな自然の風土が穩やかな氣分を養ひ育てたのであると申してもよい程であります。日本婦人は全く穩かに温和に過すやうに、天から自然に惠まれて居るのであります。

それゆえ、日本の婦人としては神より多く與へられたこの惠みに感謝すると共に、自然に生きて行くといふ美風をます〳〵發揮して、勞働を貴び土に親しむ幸福を充分自覺して頂き度いと思ひます。

そして自然に生きる事によつて、生まるゝ文化の貴さを歐米に向つて、逆輸出する事が日本婦人の天職であり、また自然の與へし使命であらうと思ひます。

つまりクリストにしろ佛敎にしろ宗敎の起源をたづねましてもやはり自然に生き、自然に逆はぬといふ事でありまして、自然に從ふといふ事が何をするにも主眼となるのであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

より好き半身となれ

文部省督學官
本會評議員　乘杉嘉壽

世界の大戰がすんでから各國みな戰後經營に全力を注いでゐますが、その戰後經營の根本基礎、となるものは國民の敎養、敎育問題であります。國民敎育の施設に就いては各國何れも苦心をして居りまして、中でも英國の努力はめざましいものであります。

我國に於てもやはりこれに意を注ぎ國運の發展、國民の福利增進には各自の人をよくし、人をよくするには敎育の方法如何によるといふ事が論議せられ、追々解決されつゝあります。

殊に婦人敎育問題は今後の重大な問題でありまして政治、經濟、敎育、あらゆる國情を通じて今後は婦人問題が最も重要な地位となりませう。つまり日本婦人が今までのやうに人格を低く見られ男子の附屬物の如く思ひなされた時代と違ひ、今日の如く社會が進んで來て婦人は一家の主婦として、台所の仕事や、小供の守ばかりに全精力を費す事をせずに廣く社會のためにも精力を捧げるやうにして、活動する範圍をひろめなければなりませぬ。それゆゑ此際大きな覺悟をもつて根本から改良を加へ、國運發展の基を築かなければならぬと思ひます。

私ども敎育にたづさはる方面から考へますと、どうしても婦人が今日の時代の有樣を充分理解して、自分の本務を自覺して時代の要求に適するだけの素質を養ふやうに導く事の必要を感じました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ベターハーフといふ言葉はよりよき半分といふ事で社會のために働く男子の半身として立派になれといふ意味であります。男女一對が基礎となつて、家庭あり國家あり、社會あるは申すまでもない事で男女は常に手を引きあつて行かなければなりません。

社會全體から考へても、男子が國家、社會の働く上にその手助けとなり、慰藉者として、婦人が男子のより好き半分たる力を持つて居る事は誠に心強い事で緻密な頭でもつて用意周到に事を處し、忍耐力を以て事に當る婦人の美徳をます〳〵發揮する婦人がある事は社會にとつて、何よりも必要な事であります。

外國の婦人といふと男子を尻にしくやうなお轉婆を考へますけれど、決してさうでなく、立派によりよき半分として、社會に活動して女子の天分才能を發揮して、男子の足らぬ所を補つて、女子の天職を全うしてゐます。

今までの日本の狀態では殆んど男子が一人で働いて女子は家を守るばかりでありましたが、もはや男女共働きの時代となつて、今後の日本は世界の舞台に活動する上に婦人が自覺して、唯家庭にのみ止まらず、眞に意義ある内助の功を表はすやうにならねばならぬと思ひます。今まで日本婦人は男子の奴隷あつかひにされたといふ卑屈な考へで男子を怨み、社會制度の缺點を嘆いて居ましたが、婦人自ら發奮して、努力しましたなればそこに道が開ける事と思ひます。

處女會の如き地方農村では青年團の風儀の立派な處は處女の心得習慣も立派でつまり、よりよき半身となり得るのであつて、お互ひにもちつもたれつするのでありますから、一方が腐敗すれば一方も腐敗するといふ事を地方に行つて見て私は確かに認めました。

地方に於ける處女教化の發展に貢献せんとする中央部に於ても、處女の團體に出來るだけの便宜をあたへて欲しい、又地方の方々も振つて處女の教導に盡して頂き度いと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

地方の處女へ

內務省社會局　玉井廣平

一、御挨拶

私は明治四十四年以來本年九月まで約十年間文部省の普通學務局に勤務して、及ばずながら全國の青年團體並びに處女會のために微力を致して居つた者でありますが、最近少しく感ずる所がありまして、內務省に轉じ、社會局に勤務するやうになりました。然るに青年團體と處女會とは切つても切れない緣があるものと見えまして、內務省に轉じても、矢張り青年團體と處女會とは、私の主なる擔當事務であります。それで私は以前から斯樣な立場に居る關係上是非全國處女會の中央機關たる本誌に於て皆樣に御近づきを願ひ將來の御交誼を得たいと思つて居りましたが、遂ひ今日まで雜事に忙殺されて、其の志を伸ぶる事の出來なかつたのは洵に遺憾千萬であります。然るに雜事は何時迄たつても、增加こそすれ、減るといふ氣遣ひが無いので、忙中に忙筆を執つて聊か所感を述べお初の御挨拶に代へたいと思ふのであります。どうぞ意餘つて言足らず、時折り御無禮に涉るやうな場合には、海のやうな蒼空のやうな御胸の中に御許しを願ひたいと思ひます。

二、女子に對する研究の端緒

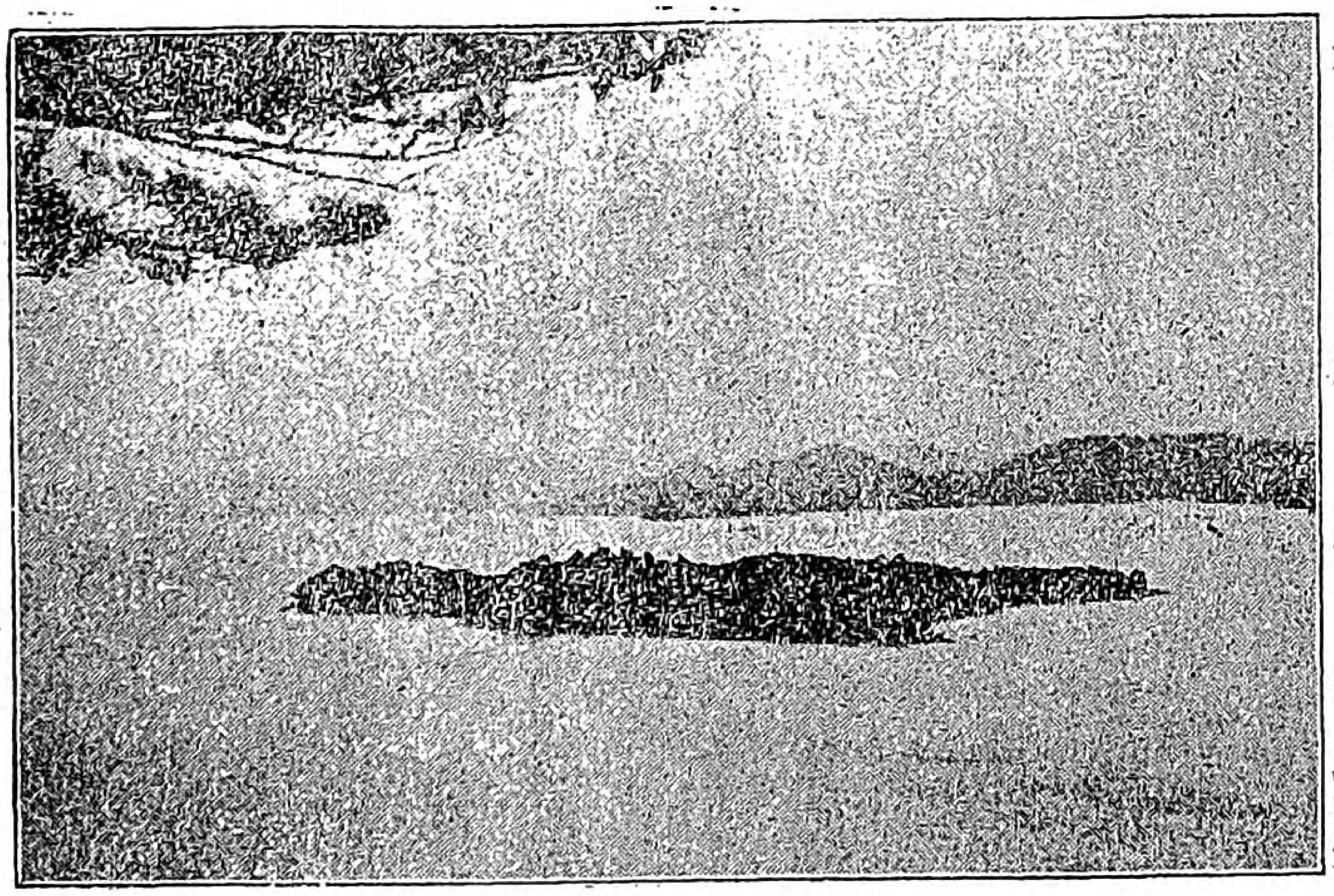
私が女子に對する問題を研究と申しますか、何と申しますか、兎に角趣味を以て調べ始めましたのは、明治四十年の頃からであります。そして聊か調べたり、又自分で感じたりした事項を、甚だ粗雜なものではありますが、一冊に纏めて公に致しましたのは明治四十三年の七月であります。丁度其の當時は每晚『ハレイ彗星』が西天に現はれるといふので、大層世間が騷いで居る頃でありました。其の本の名は『近代的婦人』と申します。主として婦人の覺醒を叫んだものであり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ます。今讀み返して見ると、流石幼稚な點もあり、又御婦人や處女諸姉に對し、失禮な點も多々ありますが併し大體の考丈けは、さう大して誤つて居らないと思ひます。私は此の本に誰も序文を書いて貰ふに適當な人が思ひ當らないので、自分で書きました。卽ち自序をやりました。一寸皆さんに讀んで見て頂きたいと思ひます。

(自序)武藏野の夜の寂寞を破つて、甲武線の汽車の響がする時、一書を御身に贈らんが爲めに筆を執つた。

婦人の自由、婦人の解放、婦人の覺醒を叫ぶ御身よ。私は敢てそれを咎めやうとはしない。唯徒らに口にのみ、又筆にのみそれを唱ふる前、靜かに御身の内心を覗かれんことを勸む。そして其の覗いた時、御身の内心に恐ろしい虚榮の敵が居ないか強い利己の敵が居ないか。奢侈と流行とに醉うた敵は居ないか、勤勞を厭ふて逸樂をのみ求めやうとする敵は居ないかを省みよ。居なければ幸ひである。若しも居たならば、先づ是等の敵に囚はれた己れの心を潔くしなければならぬ。自由にしなければならぬ。



翁しま　（福島縣　土屋しの子寄）

今や世界の婦人は、古き夢のぬけがらを捨てゝ茲に新らしく覺めたといふ。私は敢てそれを虚言であるとは言はない。今日の婦人は其の地位も高めた。職業の範圍も擴めた。高等敎育の進路も開けた家庭に於ても、社會に於ても侮るべからざる勢力もある。是に於てか御身達は最早在來の習慣や、男子の下風になどに盲目的に屈服して居るもので無いことを示して來た。朦朧の中に己れを見出し、喧騷の間

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

に己れの聲を聽くやうになつた。しかし、それは眞に見出した眞の自己であるか。眞に聽いた眞の巳れの聲であるか疑はしい。

私は御身達が、靜かに内心に省みて其の胸底の奥深き意識に眞の『生』を認め、御身達が表面の感情に僞らざる微笑を堪えて眞に尊く且つ崇き『我れ』なるを悟らん日の近きを望む。其の時こそは世界は始めて婦人に依て動くであらう。此の一篇は敢て之を御身に贈る。首尾不整、意不通、時には無禮な言葉もありませう。けれども我が最愛なる御身は、必らずや善意を以て讀まれ、且つ許して下さることを確く信じ、安心して茲に筆を擱くものである。明治四十三年五月二十九日『ハレイ彗星』を西天に望みつゝ午後八時十分、紅葩生。

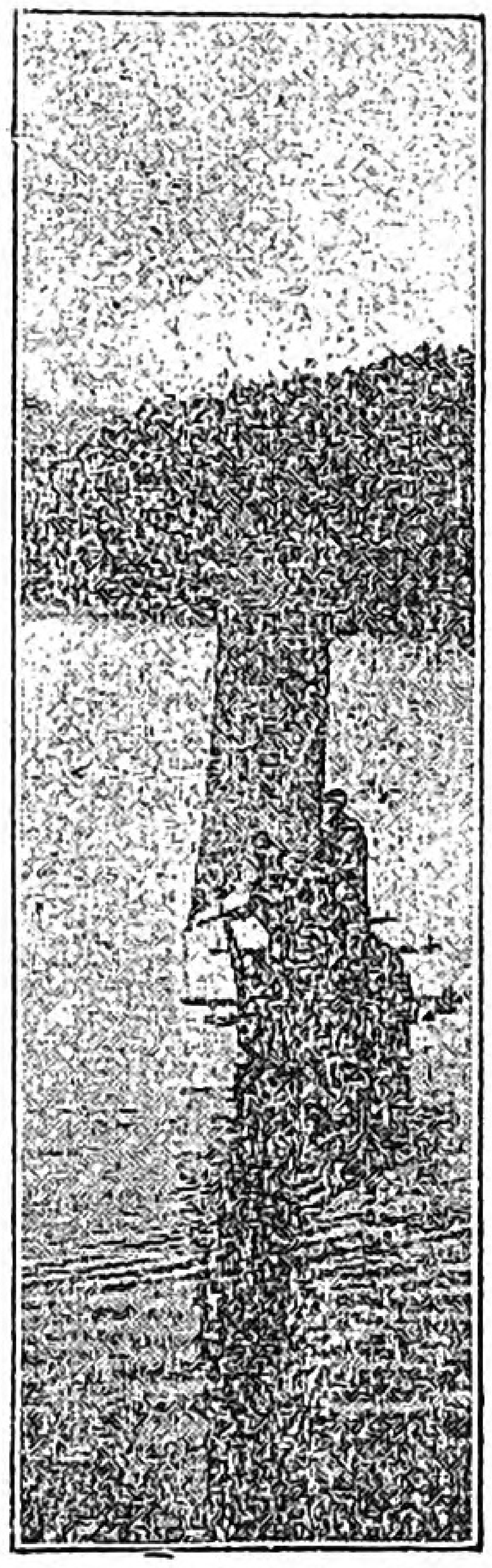
と書いてあります。之が當時私の研究から得た感想でありました、當時私は『女子の覺醒』といふ事實に對しては、多大の望みを嘱し、我國の女子は、數年ならずして面目を一新するだらうと思ひ、大に期待する所がありました。

三、實力に對する尊敬

爾來春秋去來十年の月日は夢の如くにたちました。今や大正の御代も九年將に十年に垂んとして居ます。然るに『女子の覺醒』といふ問題に就きましては、甚だ失望せざるを得ないのであります。勿論失望と申しましても、全然此の問題が十年以前と比べて逆轉して居るといふやうな事で失望するのではありません。其の進歩の遲々たる點に於て少からず落膽せざるを得ないのであります。

之れは如何なる理由に依つて左樣に進歩が遲々として居るかを考へて見ますのに、私は女子が其の地位なり待遇なり權利なりを、社會に要求することが、徒らに大にして、所謂筆なり口なりで叫ぶことに於ては一人前であるが、扨其の内容に於て實質に於て、何かそれ丈けの實力を現はして居るかといふに、必らずしもさうで無いといふ點に存ずるのではあるまいかと思ひます。凡そ地位なり權利なり待遇なりといふものは、對手から相當に畏敬され尊重せられる所で、自然に對手から拂はれる代價であると思ひます。即ち其の内容實質言へ換へれば實力に對する尊敬の結果であります。然らば今日の我國の女子はそれ丈けの實力を有し、其けの結果を何の方面に於てか示して居りませうか。(つゞく)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



箱根蘆の湖

處女會と『一夜講習』

本會評議員　山本瀧之助

昨年の秋あたりから、各地の青年團なり又は男子の補習學校などに於いて『一夜講習』なるものが漸く盛に行はれ出した。今其の『一夜講習』なるものゝ行事なり時間割なりに就いて見ると、大體に於いて左の通りてある。

一夜講習行事時間割

一　○月○日午後四時集合開會　二　午後六時食事
三　自六時半至七時半　講話　四　自七時半至八時半　講談幷申合
五　自八時半至九時半　娛樂　六　自九時半至十時　日記々入、靜座
七　十時半　就寢、寢物語
八　○月○日午前四時　起床
一一　自四時半至五時半　朝會（遙拜、朗誦、靜座、體操）　一〇　六時半　食事
一二　七時　閉會退散

全く一と晩一と朝の催しに過ぎないので、これが所謂一夜講習と名づけられる所以なのであるが、併し講習と稱してゐるけれど、其の實は互の親睦を旨としたもので、多くは娛樂的のものなのである。人員は一回を二三十人以內に限つて、會場としては青年團の倶樂部又は學校の裁縫室、お宮やお寺の建物の一隅又は普通の民家などを用ひてゐる。晩と朝の二食分の飯米とお菜の原料として葱牛蒡大根の類、それに食器も寢具も銘々の持寄などで、全く互に炊いて互に食べる。所謂一つの釜の飯を食べ、一つの床に寢るといふ仕組なのてある。

所謂『一夜講習』なるものゝ目的なり働きなりに就いて、仔細に考へて見たなら色々あるであらうと思ふ。僅か一時間でも講話の時間を置いて多少たりとも知識

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

を取り入れる。又早起とか靜座とか體操とかによつて意志にも觸れる。僅か一と晩一と朝だけの仕事の中にも、知と情と意との三つを取り込めてあるのであるけれど、併し『一夜講習』の働きの其の主なるものは、前にも言つた通りお臺所中心の考に存ずるので、『一夜講習』は無邪氣な清い娯樂としても優に其の成立が認められるのである。

所が此の『一夜講習』たるものが、昨今漸く處女會の間にも行はれようとしてゐるらしい。處女會も青年團と同じやうに、如何にも娯樂に乏しい。其の事業とか施設とかいふものが何れも身の爲めになるものばかりで、それだけ又理知一方のものが多い。青年團でも處女會でも内輪を温めて行くやうな情方面の事柄が甚だ乏しい。今こゝで處女會が『一夜講習』を催ほすとして考へて見ると、それが立派な娯樂であると共に唯筆に娯樂であるとばかりは言へないので、適當の指導を加へたならば、炊事は料理の講習となり、食事は作法の實習ともなるであらう、今度の『一夜講習』は婚禮の場面を試みて見ようてはありませんかと申合せが濟んだならば、お聟さんには少々古くても校長先生にお願ひし、花嫁さんは誰れでも小口から有り合せる。一と晩試みて見たならば、婚禮の儀式も實演であるだけ容易く合點が得られるであらう。コンナ催しは『一夜講習』ならでは出來ぬ相談である。次の『一夜講習』は舅入りの段。其の次の『一夜講習』はお産の幕。産婆さんを頼んで産前産後の手當の講話を聞くもよからう

私は青年團や補習學校や少年團の『一夜講習』に就いてはカナリの經驗を持つてゐるけれど、處女會の『一夜講習』に就いてはまだ素人である。本誌の讀者の皆さんがよくお考への上、いづれかで早く此の『一夜講習』を試みて見て貰ひたいものと思ふ。秋の取り入れが濟んで夜も段々長くなる。又お正月中の處女會の行事としては最も相應はしいことではあるまいかと思ふ。

あすもまたとく起き出てゝ働かん
窓にうれしき有明の月

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

三重縣大地主婦人大會の記

◎日本はじめての會

三重縣は日本中でも處女會のよく發達した所で、處女會の外に婦人農會、女子家政學校、婦人農事講習會などの施設もあり、天の利と地の惠みと、その上に人の和合といふ三拍子揃つた誠に結構な土地であります殊に私共の懐しいのは、こゝの知事閣下が、我處女會中央部の理事として殊に皆様に御力を添へて下さる山脇房子先生の御令嗣であられることです。

所がその三重縣で、今度日本はじめてといふ面白い計畫を立てました。其は縣下の大地主の奥さんたちに一堂に集つていたゞいて、處女會のことや小作人のことなどの相談をなさらうといふのです。その會は去る十月十二日に津市で開かれましたが、何の御縁か、私も御招待に預りましたので、大喜びで十一日の朝の特別急行で出發致しました。その夜は三重縣農會技師の美濃部先生のお邸に泊めていたゞきました、美濃部先生は、永く本縣の農會の爲に一方ならぬ御骨折り下さる方で、こんどの大會には特に力を入れていろ〳〵御世話なされました。

◎娘一人に二千圓

當日は少し雨模様でしたが九時頃會場の阿彌陀寺に參りますと、もう百七十餘名お揃ひの盛況、何れも小作米を何百何千俵と取り入れなさるお家の奥さん、お嬢さん、殊に千萬長者として日本中でも名高い諸戸清六氏夫人てる子氏、前代議士小林嘉平次氏夫人、木

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

村秀夫氏夫人、松平家晃氏夫人、天春文衛氏令嬢などが見えましたことは主催者のお喜びの一つでした。會は天春文衛氏の開會の辭について、山脇知事閣下の「地主と小作人」についてのお話。

是からは、皆さんが先きに立つて小作人の方々のお世話をなさらぬといけない、そして小作農より自作農になります樣に、御主人と協力して盡していたゞきたい。

其から私も「地主の婦人と地方改良」について少しばかりお話しを申し上げ、お午の休みとなりましたとき浪花節の「乃木大將」是にはみんな泣かされてしまひました。

午后は美濃部先生が主もに地主と小作人について說明なさいましたが、尙この機會に、左の事項の說明もございました。

一、婦人農會を尙一層設立すること

二、結婚費を儉約すること

結婚費について縣で調べました所、三重縣では、田一町二反畑五反ある家の娘さんの結婚に、二千四百八十三圓八十三錢を使つて居られます。何れも無駄なものはないことゝ思ひますが、然し私共がいつも申すことです、此からは、簞笥長持の多きを誇るより、頭の中の簞笥に多くの智識を詰めこむことです。是が根本です。いかに家が富み榮えても、娘一人に二千圓、三千圓も使ひますと、大勢の子供のある家では身代をなくしてしまひます。

美濃部先生は、之について

「かゝることは、上の好む所、下之に習ふのですからどうぞ皆樣から節儉のお手本を示して下さい」

と懇々御たのみでございました。

◎津の女工さんに

其から雨を冒して、農事試驗場に參りまして、お芋のご馳走に預り、場長からお話しも承り、その上紀念の爲に寫眞をも撮りまして、夕ぐれ散會しましたが縣では、是から毎年この會を開きたいとのお話でした

私はその翌くる日多氣郡の五ヶ谷村處女會に赴き、尙津市の東洋紡績工場の女工さんに一場のお話しを致しまして、十四日に東京へ歸りました。（アマノ）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

明治神宮鎮座祭の夜に

ひさ江

姉樣！絶間なく連發さる丶花火の音勇ましく、さま〴〵の光が暗にきらめいて居ます。三日間に渉つての明治神宮鎮座祭も、今宵限りといふので東京市民のお祭氣分はいよ〳〵熱し切つて、一つ消えては又一つ、引切なしに眞暗な空中に美しく飛ぶ、花火の一つ〳〵に心奪はれて、あれよ〳〵と空を仰いでは見とれるのです。

姉樣！

大正四年十月の地鎮祭より六箇年の間全國津々浦々の國民が熱誠こめての工事なる明治神宮の御造營成り目出度き鎮座祭にあへる喜びを胸に漲らせて市中の隅から隅まで提灯と旗と電飾とで彩られました。小學生團體の旗行列木遣音頭勇ましいお神輿眞新婦人の禁酒宣傳ビラの撒布、花の日會の活動、さなくとも人足繁き都大路は、右往左往の人の群で熱狂してしまひました。私は寸暇もない忙がしい中を、ぜひお母樣に市中の夜景をお目にかけ度くて、杖にすがつて足元の危いお母樣の手を引いて、馬場先門に參りました。もう七十に近いお母樣は生涯の思ひ出と私に手を引かれ乍ら、「長生すればこんな有難い事にも出合ふ」と喜びの聲を續けられました。

篝火の光輝く鍛冶橋の美しさ、それから馬場先門の大緑門何といふ美しさでしたてせう。無數の電燈が艶々しい緑葉を照しその光がお濠の水に

▽▽▽各地方の子守歌△△△

北海道

いふわ〳〵かんとうかわ　いふわ
つらんけしんだ　いふわ
しんだはしだ　いふわ
かもいいしつ　いふわ

（譯）ネンネコヨー〳〵此青空ノ上カラネンネコヨ
下ツテキタイヅコ（揺籃ノコト）ネンネコヨイヅコノ中ニネンネコヨ神樣の光姿樣が見テ居ルネンネコヨ

大阪府

れんれんころいち天滿の市よ。大根そろへて舟に積む舟に積んだら何處まで行やる。木津や難波の橋の下橋の下にはおかめ（鴎）がゐやる。おかめとりたや竹の橋ほしや、竹が欲しけりや竹屋へ行きやれ竹は何でもございます。

れんれおれんれよ。坊やはよい兒だれんれしな坊やのお守は何處へいた。あの山越えてお里へいた里のお土産に何貰ふた、でん〳〵大皷に笙の笛起上り小法師に犬張子

神奈川縣

れれれれよーおころりよー。坊やはよい子だれんれしな坊やがれた間にべべたつて。御眼が醒めたら宮參りお宮の鳩に豆やつて。お池の金魚に麩をやつて、坊やはよい子だれんれしな。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

映つてゐるさまは、「まあ綺麗ですねえ」と目を瞠るより外に言葉も出ませんでした。

アーク燈の光まばゆき廣庭に集つた人々は、皆二重橋に至り皇居を參拜します。私もお母様の手を引いて二重橋に參りました、御門衛が直立の姿勢で民衆をぢつと見て居るのが遠く電氣の光で見えました。暫く默々として頭を垂れて、國家の安泰を守らせ給ふ明治天皇の宮柱太しく鎭座ましまず今日の佳き日、殊更に敬虔の念に掩はれて、暫く頭をたれたまゝ動き得ませんでした。

歸りには銀座通りの飾窓、樣々に意匠をこらした陳列窓を見て、日比谷から電車で歸りました。

姉様！

とりわけて恐ろしいのは電車の混雜で、我も我もと青山から日比谷に向つて集るので、此間の電車はもう滿員を通り越して、危ふげに鈴なりに下つて、走り行く電車に附いて行く男の人が多う御座いました。警視廳でも大祭中の警戒に全力を注ぎ、三千餘名の警官が出動するといふもの〳〵しさでした。

青山一丁目からは紫白の幔幕に軒提灯をさげ、青山御所の前には鳥居形の大緑門の緑葉、電氣の光に艶やゝかに水々しく見えました。

南參道に當る青山六丁目の電飾畫のやうに輝く大鳥居の邊の廣い道の兩側に記念繪葉書の賣り聲高く叫んでゐました。北參道の外苑のほとりは紅白の柱に美しい幔幕で飾られてゐました。

姉様ほんとうに千萬年の後までも記念すべきこの祭典の折に、同じ都のお祭氣分に浸り、お母様と共に、都の賑ひを眺め得た事が私として無上の喜びでございます。

茨城縣

坊やは可愛やお山程。お山で木の數萱の數、
野原通れば千本松原に小松原

栃木縣

ころ〳〵小山の小兎はなぜにお耳が長いの母ちやんのお腹にゐた時は椎の實萱の實たべたとてそれでお耳が長いの

愛知縣

守りといふもの樂そで辛い、親に責められ子に責められて人に樂だと思はれる
おばさんどこへいきやるゝ三升樽さげてお嫁の在所へ孫抱きにおつもてん〳〵あば、〳〵

山形縣

ねんねしな鐘が鳴る
夢の浮橋とん〳〵
行けば龍宮の乙姫が
坊やの來るのを待つてゐる

石川縣

とん〳〵とろりことんとろりん。とろとんとろりと鳴る音はお姫樣のお使か、かちかちやまの兎さん狸もおいたをやめにして。ねる子にお守りの腹鼓、
疲れあそばんを御寶や。あすはこの子の誕生日赤飯炊いてとゝ燒いてお箸は何者柳箸

鹿兒島縣

老父さん老母さん長生しやり
米は安くならう
家計も豐ならう
辨天芝居も亦ござろう

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處友會中央部と女教員招待

處女會中央部では、去る十月二十一日午後三時から全國小學校女教員大會に出席せられました女教員の方々二百七十餘名を御招待致しました。（社説參照）

最初に澤柳會長は處女會中央部の事業についてくわしくお紹介があり、其より理事代表として山脇高等女學校長山脇房子女史の御挨拶があり續いて文部省參事官にて本會理事たる下村壽一氏の處女會の主義方針に就いてのお話があり、其より新渡戸朝の本會理事國府種德氏の英國の婦人に就ての面白いお話がありました。

それより女子醫學專門學校長本會理事吉岡彌生女史中央部を代表して女教員側に意見の發表を要求されました處勢よく席を立つて、心の底より溢るゝばかりの熱辯を振つて意見の發表をされし方が三名、尙この外にもあるらしき樣子でしたが、時間の制限のために遺憾ながら皆承る事が出來ませんでした。

左に三名の方の意見の要領を御披露致します。

お裁縫を敎へた苦心

（新潟縣　渡邊いく子氏）

私は處女會とは名づけませんが小學校卒業の女子を集めて日曜に裁縫手藝を敎へ、特にぼろの繕ひ洗濯に心を用ひ非常な熱心を以て導きました、そして農村の娘に適した技藝を敎ふる事に努め質素を主意として指輪、絹張の洋傘を絕對に禁じ、木綿の着物で白粉をぬる代りに半襟を白くせよと申しました、私自身が實行しますので生徒も皆「先生があゝして居らつしやるから」と眞似をして、洗濯やぼろいぢりを好むやうになりました。そして昔噺を聞かせ面白い處で區切つては其次にまた聞かせるといふ風に致しましたので、生徒もよろこんで遂にはお握りを頂いてまで通ふやうになり、日曜を待ち兼ねる有樣となりました。

ところが私が其學校から二里離れた所に轉任するやうになりまして折角一心になつて始めた處女の敎育が中途で止む事になり、生徒は私を忘れずに日曜や祭日などに二里の道を尋れて來てくれます。子供のあるものは子供をかゝへて遊びに來る有樣で私も置いて來た子供の事が忘れられず思ひ出しても胸が充滿になる程であります。これを考へると處女會の事業を徹底させるには同じ學校に永く勤續する必要があります。それゆゑ私は女敎員があまり轉任する事には絕對に反對いたします、と聲を大きくして叫び乍ら着席

人格ある方々が

（熊本　森きて子）

「私は女學校出――其他中等以上の敎育ある同志と相談をして、處女

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の教養には如何しても婦人が率先して、努力しなければならぬと思ひ立ち、今から八年前に互修會といふのを設けて、熱心に廣告をしました。そして裁縫手藝の教授に力を入れましたところ、處女の方が進んで參るやうになり、種々の注文を出すやうになりました。

今まで處女會に就ては多くの人が考へられたのでありますが、青年團の勢力に壓へられて、青年團が忙がしいため實行に困難をいたしました。この處女會を發展さするには、如何しても適當なる指導者を得るといふ事が根本問題で、獻身的に熱心と同情を以て盡す人、信頼し得るだけの人格を有する人、年齡は廿七八歲以上であるといふ、これ等の條件を備へた指導者が必要であります。そして處女會の指導者たる者は、どうしても勤續年限を永くして頂いて、生れ故鄕に近い所に就職させて頂き度いと思ひます。

青年團の連絡

（廣島　新谷かみの子）

「私は早くから青年團と處女會の提携といふ事の必要を感じ、時勢の要求に應じて處女會が青年團と提携する事が男女共に向上し、互ひに理解を持つ上に效果が現はれる事を信じ、講習會を共にしたいとの希望を持ちました。異性相引くは人間の本能でこの本能の善用によつて、男女が互ひに手を引きつれて修養する事は時勢が要求してゐます。けれどもまだ〳〵女教員といふものを社會が低く見て居ますので、青年團に女教師の腕を見せてやらうと青年團講習會に講師たらん事を望みました、そして青年會の席上で「處女會の指導の方針を助けて下さい、眞に價値ある婦人を貴び結婚に對しても、慰みものといふ意味でなく、眞に信頼すべき妻を望んで下さい」と申しましたそうして青年團と處女會と合同して會を開く事を主張しました。初め危ぶまれたが私はお互ひに充分の責任を持つて、眞面目に會合するやうに最初に言ひ聞せました處、割合に效果があつて、質實、淳厚の氣風を失はず、出席の步合も反つてよくなりました。青年團と處女會の提携は、中心人物の如何によつて左右されますから、指導者に善き人を得る事は、何より大切な事で教員の勤續年限を永くする事も必要であります。

三氏の意見發表が終つて後名古屋の林千鶴子氏の答辭があり、次いで各理事の披露を致しまして散會致しました。尙當日列席の理事は、山脇、吉岡、大江、甫守、並びに下村、田子、國府、高野、福島、田所、天野の諸氏でありました。

○柿と栗

別るゝや柿食ひながら坂の上

乳母問へば椎の實くれし山家かな

風におつる庭のさゝ栗拾ひ置きて
　訪ひ來る人の家づとにせん

澁柿や一口はくふ猿の面

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

家庭學校參觀記

ひろの

○

東京市外西巣鴨なる家庭學校をお訪れしましたのは空の時雨れし秋の日の午前中――大塚の終點で電車を降り幾曲りも曲り曲つた狹い道を幾丁か歩いて生垣めぐらした幽雅な庭の中に幾棟かの建物――これが目的の家庭學校でありました。名刺を通じますと小塩先生が快くお會ひ下さいまして、種々と學校の有樣を叮嚀にお話し下さいました。

○

一當校創立は明治三十二年十一月二十三日で、感化敎育を目的として目下四十三名の生徒を收養してゐます定員は五十名といふ事にして居ますが、北海道に分校を置き大分廣い地所もあり、非常に盛んになつてゐます。その外相州茅ケ崎にも地所があつて、生徒をつかはすとにしてゐます。目下の處當方は現狀維持の狀態で擴張せぬつもりです。生徒の中で弱い者は茅ケ崎にやり強い者は北海道にやる事にして、農業に勉勵させながら敎化する事に勉めてゐます。當校は工業地といふ事にして主として、指物や西洋洗濯をやらせてゐます。

○

創立以來十五年如何なる生徒を敎育したかと申しますと、普通の家庭でもて餘し學校でも困るやうな不良兒をあづかつて、眞實家庭的に世話をしながら感化敎育を行ひ、一方それらの世人から亨け入れられぬ兒童が、やがて世に立つ時のために、自活の方法を立てゝやることも考へて、勉學中からさしもの西洋洗濯等の實務に當らせてゐます。これ等の子供達に對しては、眞心からの同情と熱愛をもつて指導し、決して不良兒と呼ばず、普通の兒童と少しも變らぬ待遇をいたしてゐます。

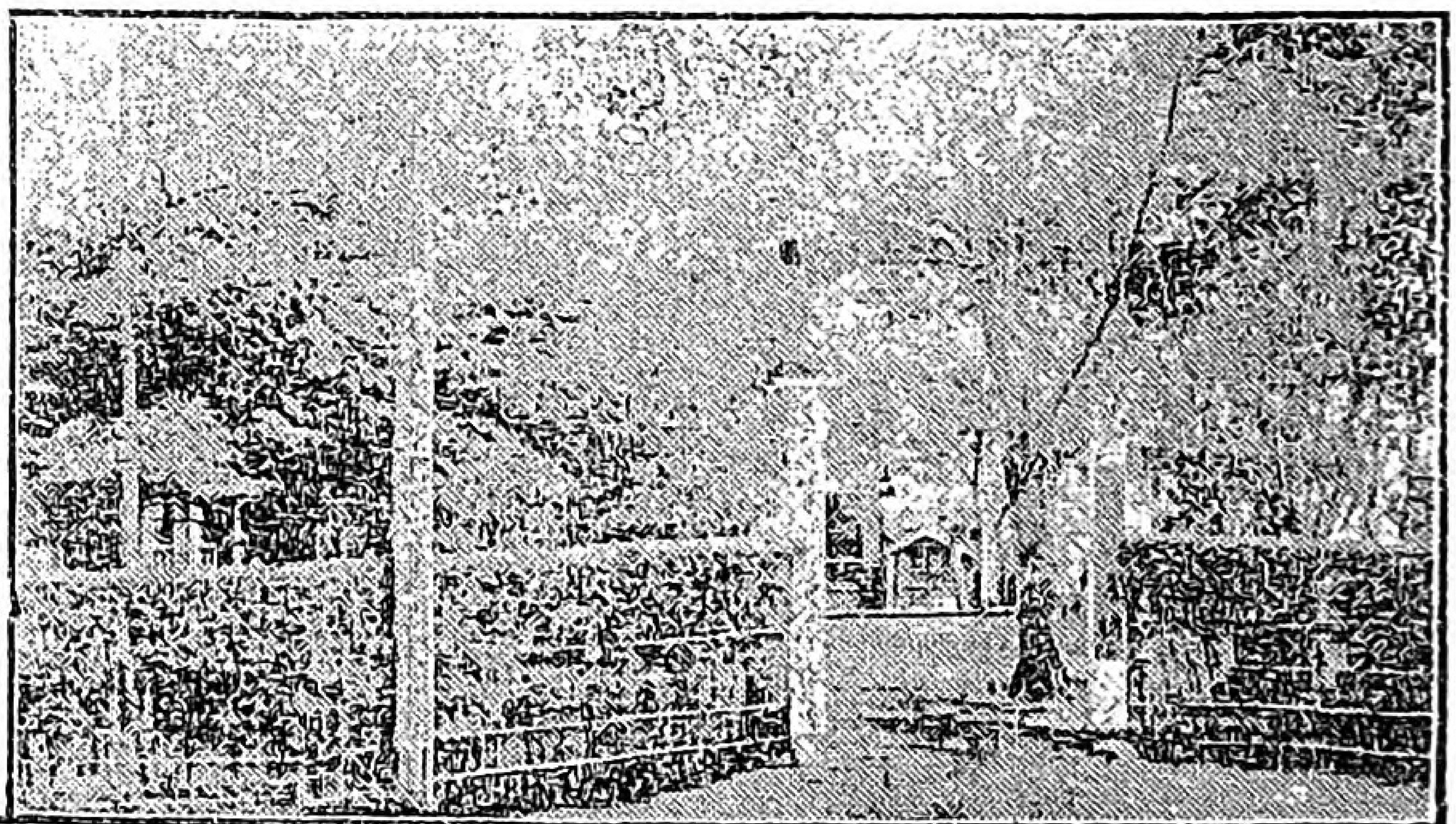
○

生徒は八才より十六才迄の男兒でこれを分類して小學部高等部夜學部の三種に致し、小學部は尋常小學の科程を普通に授け高等部は中學程度の敎育を授け、夜學部は特に義務敎育終了の後晝間働きつゝあるものゝ

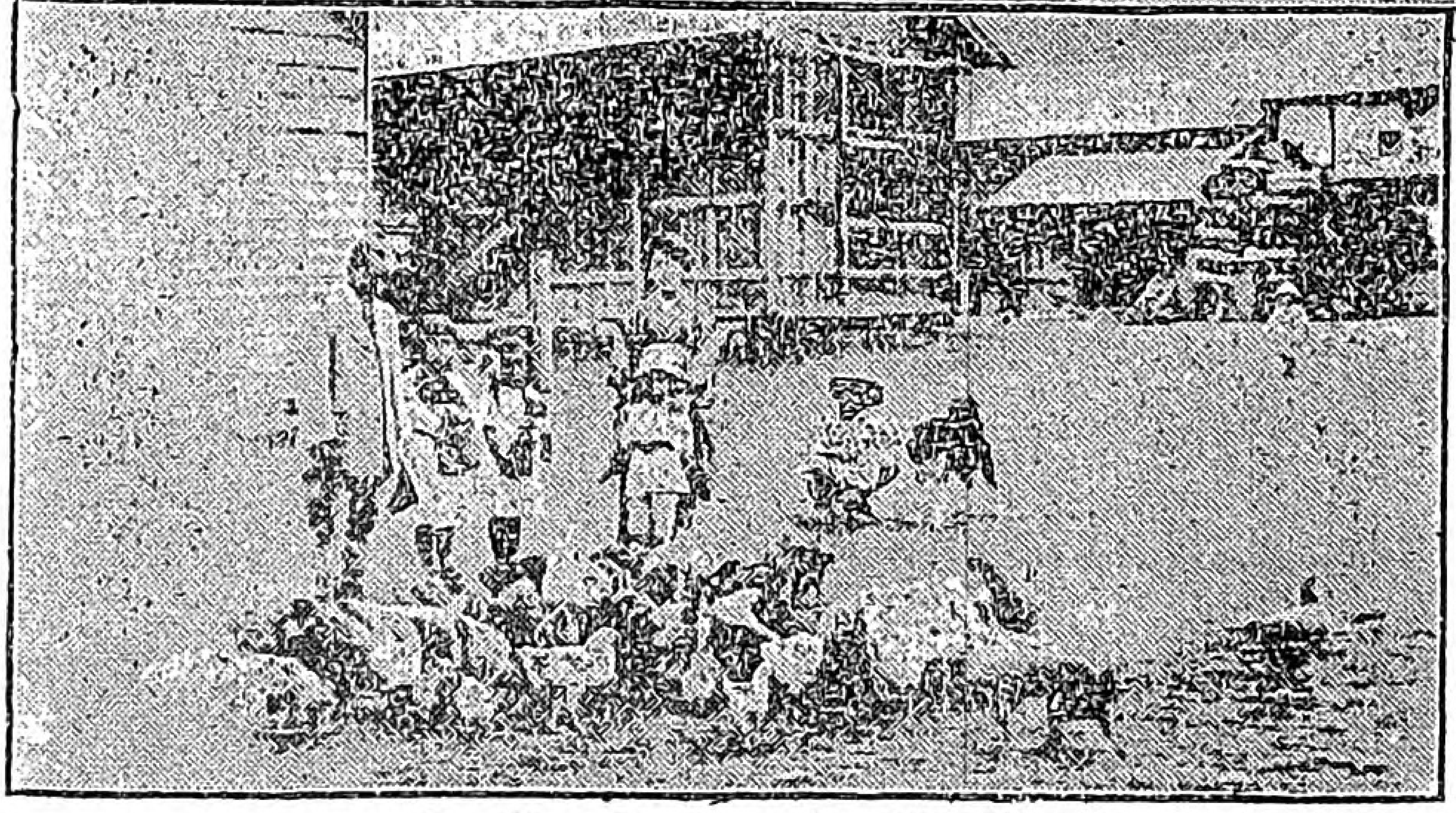
Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ために設けてあります。此處に來る生徒の多くは父母がないとか、繼母であるとか主として家庭に缺陷のあるもので、家庭の暖味を知らず、母の愛に浴し得ない不幸なものばかりです。つまり境遇が不良な性質を作つたと申してもよい位で、罪は家庭にあり殊に母親に責任がある事と思ひます


家庭學校の正門

怠惰な兒童、我まゝな兒童、浮浪兒、竊盜兒の四種類で堪えず注意をしてその行爲を監督しながら一方暖い心で愛してやらなければなりませんので、教員も非常に苦心をしてゐます。浮浪兒など始終飛び出して行衛を尋ねる事が屢々あります。それでも此處を忘れずに必ず歸つて參りますが夜遲くなどに歸つて來ますと必ず女の先生を呼びますこれをもつて女の愛が如何に子供等にとつてよろこばしい事であるかといふ事を感じます、そうして女の先生に非常に親しみをもつて、もう雛が親鳥をかこむやうにまつはり付きます。


北海道恵の谷養鶏

○

小供等に眞實に家庭の暖さを知らせ度いといふのが目的で十人位づゝ各敎師の家に養つて敎師を家族長として小供等に親しみを以て起居を共にする事にしてゐます。小供等には先生と呼ばせて居ますが全くの處家族長なる敎師の夫妻は父母に代り、慈愛を以て子供を導く事につとめてゐます。

元來小供には眞の惡人といふものはなくもと〳〵人の性は善なるもの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

で、當校の生徒も不良精神ではなく不良行爲であるといふ事を主張して、私共はあくまでも解放的にして何事によらず相談相手になる事に勸めてゐます。今まで冷い家庭の空氣の中で相談相手になる人もなく幼心に小さい乍らも煩悶を持つて居て、それを打明けるだけの信頼すべき人を見出し得なかつたのであります。その可憐な心を充分推して、慈愛と至誠を以て少しでも多く一所に居て親しみを持つといふ主義をとつてゐます。

○

北は樺太より南九州の果から全國より集つた生徒の中で三分の一は東京の者であります。毎日午前中學科の授業をして、午後は雜用をする事に定めて、何でも疲勞するまで身體を動かすといふ習慣をつけてゐます。

今までの卒業生は約四百名ですが案外成績よくて最高學府を出たものもあり、眞面目な徒弟となつて、實業に向つて働いてゐるものもあり又は教育家、宗教家として社會のために盡して居るもの等皆正しい道を歩んで居ます。當校に入學さする時も種々精細に檢べて入學させますが、卒業後社會に出す時は又一層の苦心で折角善い方面に感化されつゝあるものゆゑなるべくよい境遇に出してやり度いといふ一心で、充分調査をした上で實務につかせます。肉體上の病人と同じで病院で癒つたものは退院後の養生が大切でありますやうに、これも又卒業して後の境遇如何といふ事は、本人の精神上に非常な影響を及ぼしますから、極く親切な處にと望んで特にお願ひする事にしてゐます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○

小鹽先生は細々とお話し下さいまして、眞面目になつて勉强して居る生徒さんが汲んで下すつたお茶を記者にすゝめてそれから校内を案内しやうと席を立つて記者をお導き下さいました。講堂(此校では禮拜室)と誠に整然たるもので毎朝起床後水風呂浴びた全校生徒を集めて祈禱をする規則ださうで如何にも神々しく思はれました。

校長室には生徒の製作品である立派な簞笥や、本立食卓等見事に飾つてありました。敎室では普通の學校と少しも變らず熱心に眞面目に稽古をして居られました。庭園では近くある運動會の準備とかで種々の遊戯の練習をして居る組もありました。スプーレースに如何にも愉快そうに笑ひさゞめき乍ら練習して居る樣は普通の學校と少しも變らず暖い師の懷に抱れて人間らしい幸福を味ひ得るやうになられた生徒の皆さんの幸福を眞實同じ心でよろこびました。庭に下りて門の前の廣々した畑を拜見したり、生徒の父母とも家族長とも親しんで起居を共にする先生方のお住居の幾棟か立ならぶ庭を歩きながら生徒の室を拜見したり西洋洗濯の作業に忙がしさうに働かるゝ所や指物て材木にカンナをかけて居らるゝところやら小鹽先生の委しい説明のもとにさまぐ\の敎訓を得て校内を殘らず拜見さして頂きました。

◉中央部より

本會評議員跡見花蹊女史より百圓本會理事跡見李子女史より同じく百圓を中央部に御寄附下さいました、皆さんと共に深く感謝する次第でございます。

尚高野理事より又々、三十圓中央部に御寄附下さいました。每度の御厚情を深謝致します。

去る十一月十一日富士瓦斯程ヶ谷工場處女會では秋季大會を開き餘興に歌劇を演じました。本部から田所天野兩理事が出張されました。非常に面白かつたさうです。委しいことは一月號に御披露致します。

天野理事は十一月下旬埼玉縣上尾町と飛行機で名高い所澤の處女會發會式に出張されました、是も正月號のおたのしみに致します。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

東亞絹絲工業
株式會社

巣鴨工場の辨天祭

右工場では去月一日即ち明治神宮御祭典の吉日を機とし創立紀念の辨天祭と云ふのが行はれました。何となく整然とした中に暖い空氣に充ちて工場といふよりは、父母の手に多くの子女が養はるゝ暖い家庭の團欒を思はする有様でした會場は紅白の幔幕引まわして美しく装飾され、正面壇上の机には賞品がうづ高く積まれてありました。向て左側には工女なる處女の人々が百名計り、右側には招待された男女の人々が約五六十名、來賓職員の方々が着席せらるゝや、君が代の合唱によつて開會された。開會の辭が述べられてから賞品の授與がありました。

西澤社長は工女の心得について懇々と訓示を施され、次で本會中央部より出張の吉川女史の講話あり女史は今日の御祭典に際して一層深く明治大帝の御偉徳を紀念し奉るためとて御詔勅中の「忠實業に服し」なる聖語につき、自己の職業を重んずる事、職業には高下なき事勞働の神聖なる事、忠實其業に服する人には向上あり發展あり、自己を益し、國家を利する事虚榮に憧がれざる事、精神修養を怠らずして品性を磨き工女の位置を向上なせる事、等につき適例をひいて力説せられました。次に櫻楓會托兒所より來られた新堀氏の面白きお伽噺ありて一先休憩、來會者一同に折詰辨當を饗せられ午後餘興の幕は開かれました。美しいピヤノの音につれて「野の幸」が歌はれたのを第一番として次から次へ面白い餘興が行はれました。

一少女の手しな　一お伽劇「かち〳〵山」
一皿のつかひ分け　一少女喜劇「入かわり」
一唱歌劇「舌切雀」　一合唱「森の樂隊」
一運針競爭　一獨唱「お人形」
一朗讀「辻音樂」　一合唱「案山子」
一獨唱「助け船」　一合唱「月」
一薩摩琵琶　一朗讀「近江八景」
一唱歌劇「龜の智惠」　一合唱「兒島高徳」
一お伽噺「幸福なる少女」四幕

などかず〳〵面白い餘興に會集一同喜々として愉快な一日を過しました。これらの餘興は何れも眞面目に何等特別の装飾もせず、あのまゝの中に面白く行はれました。尚この工場にて作業の時間を割て讀み、書き、作文、裁縫の業を教へられるとて其手に成れる習字、作文、裁縫手工の成績品を陳列しあり何れも優秀の出來榮えでありました。

かく實益と慰藉とを與へられて日々の職業にいそしむ工女の幸福を祝します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

年の暮

節季

十二月——臘月——節季さま〴〵に呼びなして一年の總勘定をする季節て、取引先との勘定を綺麗に形づけて了はなければならず、正月の準備を控へて何や彼と忙がしい時です、それゆゑ忙がしい事を節季のやうだと申します。

冬至と柚子湯

冬至とは、十二月二十二日前後で一年の中で晝が一番短い日で此日から日一日と日が長く延びて俗に米一粒の長さとか疊の目一つの長さと申すやうに少しづゝ日が長くなつて行きます。東京では、この日柚子湯をたて、又南瓜を煮て頂きます。冬至に南瓜を食べると、夏の病氣をのがれると、云ふので、この日南瓜を頂くことは、我國で廣く行はれて居ます。

餅つき

東京では「賃餅仕り候」といふ看板をかけてとん〳〵拍子を揃へて忙がしさうに餅屋がついた餅をどん〳〵各家に運びます。餅の如く丸く家内が治まるやうにお目出度い意味で正月には神に供へ、雜煮に用ひ、どんな

安來情調

出雲の國能義郡安來町は太古素尊の始めて御上陸せられた土地で、自然の風景は夜見ケ濱と十神山といふ山に包まれて、山陰地方屈指の町として名高い處です。

十神山、社日櫻、龜島、愛宕山等勝れた景色を歌つた安來節の一部を書きとつて、名所のしるべと致しませう。

この名物荷物にやならぬ
聞いてお歸れ安來節
安來名所はかず〳〵あれど
春は社日のあだ櫻
夏は龜島涼み臺

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

家でも正月に餅はなくてならぬもの、田舍の家々では近所隣互ひに助け合つて賑やかな餅つきをいたします。筑前博多は特に餅つきの面白い所で親戚近隣の人集つて三味線、太鼓で賑やかに囃しながらさまぐ＼の曲搗をして緣喜を祝ひます、出來たばかりの暖い餅をちぎりながら、おろしにつけたり餡をつけたりして頂きます。

晦日そば

大みそかには蕎麥打を食べるものとしてあります。蕎麥の長く續くやうに、運よくあれといふ意味であります。都會では大みそかに蕎麥を頂く習慣から「みそか蕎麥」と申して毎月之を頂きます。何故晦日に蕎麥を戴くかと申しますと、金銀箔師が細工をして、金銀の粉がそこらに散ばつた時に、若し蕎麥を湯で堅く解いたもので掻きよせると、疊の目の中にはまつたものまで取られるといふので、商賣人は晦日に金銀を掻き集めるといふ緣起からみそかに蕎麥を食べることになつたのだといふ說があります。

除夜の鐘

大晦日の夜を除夜と申します、泣くも笑ふも今夜限り。大晦日となつては手が何本あつても足が何本あつても、西に走り東に驅りしても追つきませぬ、一年中の仕事はすつかり片づけねばならぬ。忙がしくて夕飯も遲れ七時となり八時となります。もう九時――十時――十一時――あと一時間で今年はつきるといふ時「新を以て舊に易ふるを除といふ」と古書にある文句から除夜の語は出たのであります。

秋は月見の馬背山
　冬は十神の雪見山
十神山風みどりを吹いて
　白帆出て行く錦浦
汽車て安來の十神の山は
　出雲名所の筆初め
山て名高い安來の十神
　歌で迷ふが安來節
愛宕お山に春風吹けば
　安來千軒花吹雪
安來千軒名の出たものは
　社日櫻に十神山
愛宕山から中海見れば
　西に東に眞帆片帆

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

冬枯の野

草も木も枯れ〴〵となる冬の野外を眺めますと「蕭條として石に日の入る枯野哉」といふあの有名な蕪村の俳句が想像されます。何故冬になると木の葉落ちつくし草も枯れ野も山も寂しくなるのでありませう。我國のやうな温帶地方では冬が來ればかうした山も草も木も荒れ果てゝしまふのが自然であります。

植物の葉はその營養を「司る大切な道具でその葉が枯れてしまひましては植物は丁度血のめぐらない人間のやうに生きて行く事が出來ません。それで餘儀なく冬がすむまでぢつと休んで氣候の變化のために生き殘つた部分が活動を止める事になります。

寒氣のために草木の枯れることは眞理でありますが年中夏のやうに暑い熱帶地方にも、冬枯と同じやうになるのを見ますと溫度の低いために葉が枯れるとばかりも申されません。熱帶の內でも年中濕氣のある地方ではその野外は年中我國と同じやうに夏の景色が殘つて居ます。

熱帶でも葉が枯れるのは何故かと申しますと、乾燥するために乾燥によつて葉が枯死するのは、植物は絶えず地中から水を吸ひ取つて、之を大氣中に放散する作用を營むのにそれが出來ないからであります。つまり植物の體中を水が出入するのは養分を得る手段であります。水の入口は根で出口は葉であります、そして根の水氣吸收量と放出量は平均して居ますがそれが平均せず放出量の方が多くなつた場合に體內の水氣が缺乏して植物が枯れるのであります。それで植物が永い生命を保つには水分の出口である葉を捨てゝ一時休むより外ないので一部の犧牲によつて生命を保つのであります。

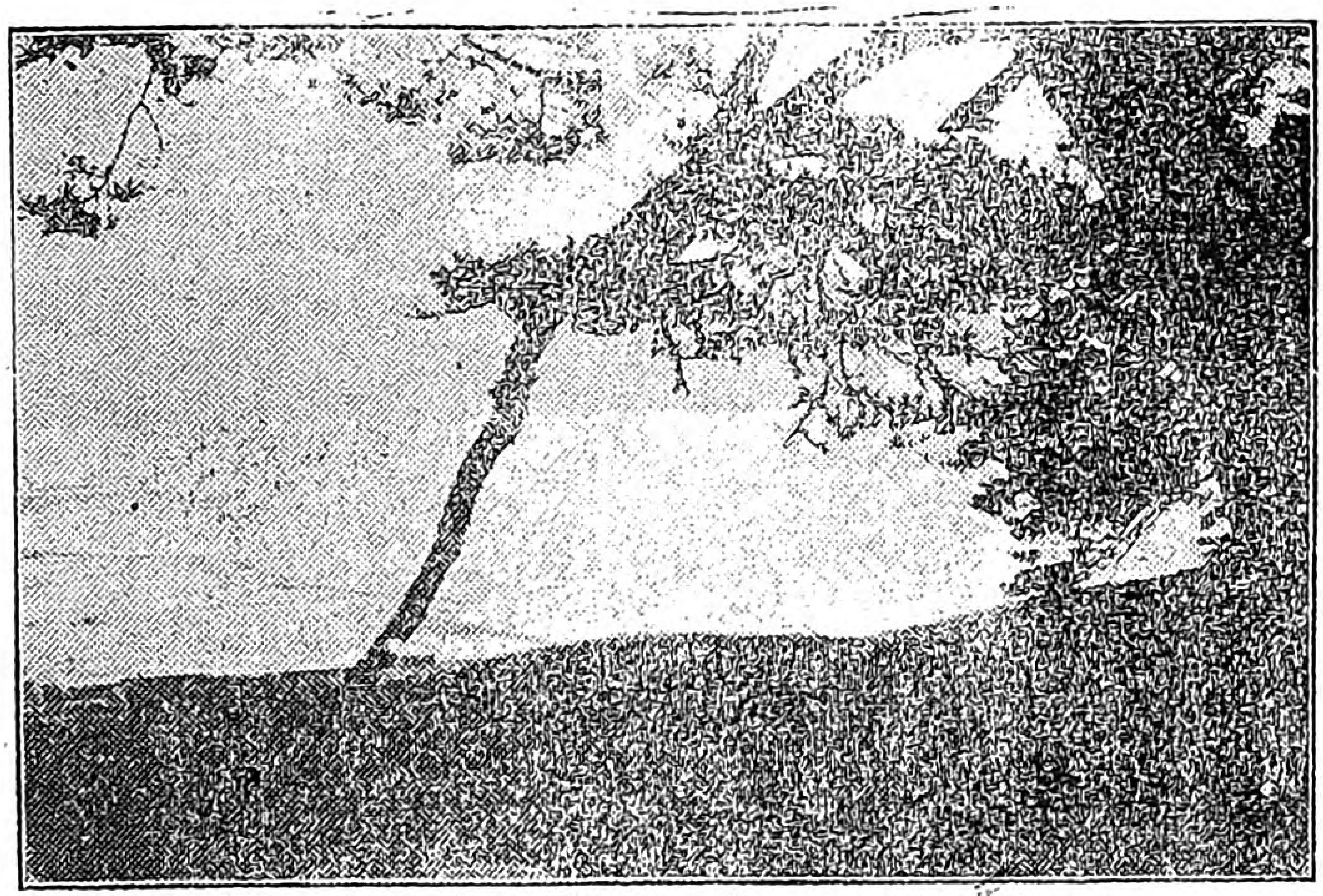
葉の落つる理由は、右の次第でありますが、常盤樹はどうして年中綠の色を失はないかと申しますと、常盤樹は他の葉と異つて肉が厚く、表面の膜が厚くて殆んど水分を通さないのであります。それと空氣や水蒸

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

氣の出入口である氣孔の數の少いことで、その組織が密で間隙が甚だ少なく、空氣の流通が良くないためであります。それゆゑ冬になれば氣孔を閉ぢて水分を葉面から全く發散しないやうになります。かうした構造の葉は盛んに發育する季節でも、多くの水分を放つ力が弱くその代り水分を吸收する力も弱く、體の生長上誠に不利益でありますがこれも一長一短で毎年葉を捨てるやうな不經濟がなくてすみます。

それから草類中には冬にならぬ前に莖、葉、根、全部枯死するもので一年生の種類がありますが、是は寒さと乾燥とかいふものとは關係がなく、その種類に持て生れた特別の生活を遂げるのであります。多くの草類は樹木の落葉期になつて地表に顯れた部分だけ、莖、葉の兩方を枯死させ、地の下には根でも莖でも殘つて居ます此は宿根草といふ種類であります。

宿根草が葉と共に莖まで捨てるのは、それは草莖は樹木の枝や幹と違つて表面の膜が薄く、多少水分を放散するやうに出來てゐて、冬期中この部を大氣中に曝して置くのは體内の水分を失ふ憂があるからであります。地下に殘つて居る部分は風に當らないのみでなく、地中には常に多少の濕氣があつて、水分を奪ひ取られる心配がありませんので、安全な場所に新芽を作つて春の來るのを待つてゐるのであります。



諏訪湖（安江すみ代子寄）

今年は今年はとて暮れにけり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ある夜の夢

天野藤男

◎

いつどうして來たか知れない、又そこがどこだか知らないが、私は、ある高い山の廣い芝原の上に仰向きに寢てゐました。風もない秋の溫い日の夕ぐれて、折しも太陽は山の端にかくれかゝつてそれは〳〵美しい御光のような光りをあたり一面に放つてゐます、その光りが私のゐる芝生をも、私の身體をも射て、私は心持ち目がまぶしうございました。

「あゝいゝ入日だ、太陽のはいるのはいゝ、落ちついて、靜かで、莊嚴でいゝ。丁度偉人が笑ひながら胸に手をあてゝ眠る樣な……」

こんなことを考へてゐますと、烏が一群れゆるく輪をかいて麓の方を舞ひ始めました、其も夕日を受けて美しく金色に光ります。私は何故かしら悲しいような氣持になつて眼を瞑つてしまひました。

◎

すると、もし〳〵と頭のそばで、私を誰か呼びます、其を私は知つてゐながら、何んだか、つかれた樣な、ものうい樣な氣分で、返事もしず、默つてうと〳〵としてゐますと、こんどは、

「もし〳〵、先生々々――」

と私をゆり起します。目を細く開いてみますと、見覺えのない一人の若い女が座つてゐます。ヂッとみつめてゐますと、彼女は袂を顔にあてゝ悲しさうに、うつむいてしまひました。私は急に起き上りました。

「あんたは？どなた？」

彼女は泣いてゐます。

「どうしたのです、ね、話してごらん、ね」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「先生私しは死なうと思ひますの、」
いきなりこういつて泣き仆れました。
「死なう?、いけない、そんなことあるものですか、全體どうしたのです、どこから來ました」
よくきゝますと、彼女はこの山の麓の貧しい農家の娘でしたが、早く母に死に別れ、その上に父は北海道へ出稼ぎにいつて行衛もわからず、嫂との折り合もわるいので、思ひきつて奉公に出ましたが、務めが苦しく、その上に不治の病をも得たので、思案に餘つてとのことでした。
「お氣の毒だ、ほんとうにお氣の毒です、何から慰めていゝかわかりません、けれど死ぬなんて心を起してはいけません、もう大丈夫私があなたの爲に祈つてあげます。」
と、私が彼女の手を取つてみると、不思議です、手は冷めたくなつてゐます。
「しつかりなさい、ね、」
抱き起こす様にしていたはりますと、彼女は淋しく笑つて、
「いえ、今私亡くなつたお母さんに會ひにいつて來ました」
と申します。
「あゝさうでしたか、どうしてゐましたか」
「わたしの大きくなつたのを見て大變喜んで下さいました、そして草葉の蔭で私の爲に祈つて下さると仰言いました」
「それごらんなさい」
といつてまた手を握りますと、今度はポカポカと温いのです、ふとみるともなくあたりをみるともういつの間にか日は暮れて、夕燒雲が美しくたなびき、空には淡い〱星さまが光り始めました。

◎

『ねいゝ星さまでせう、一つ二つ三つ、ごらんなさい、ピカリ〱光つてゐます、あなたの亡くなつたお母さんのお眼の樣でせう」
と申しますと、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

「先生そんなことと仰言つてはいやです、あゝさう〳〵思ひ出します、あゝお母さん、お母さん」と空を仰いで叫びます。私はわるいことをしたと思ひながら。

「あなたがさうしてお母さんを思つてゐらつしやる間お母さんは亡くなられはしないのですよ、思ひ出のある間、その人は生きてゐるのです、あなたは、清い立派な乙女になつて下さい、そして亡くなつたお母さんの様な優しいお母さんになつて下さい。」

ゴーン〳〵と入相の鐘が聞えます。麓の里の灯がチラリ〳〵見え出しました。

「入相の鐘が鳴ります、私は淋しうございます」と彼女は申します。

「淋しいと言へば淋しいのですが、しみ〴〵と味へばなつかしい、心一つです。それよりか、あの星をごらんなさい、段々ふえて來たでせう、今に空一杯になりますよ。あの一つ一つが何千里とあるんですから、天地は廣いですね、人間は小さいものです。たゞ人には靈といふものがあります。是が人たる所以です。いづれ一度は死ぬ命、星さまの様にけだかい一生が終りたいのです。」

「先生、私の爲に祈つて下さい」

「祈りますとも」

ふと手にさはつたものがある、取つてみると、きれいな模様の花、唇にあてゝみると温い

「ねいゝでせう、空には星、地には花、唇にあてゝごらんなさい」

彼女はニッコリ笑つて唇にあてゝ眼を瞑つた。その寝顔のあどけなさ、一點の汚れもない、罪もない、私はそつと桔梗の一莖を彼女の胸にかざしました彼女はすや〳〵寢てゐます。

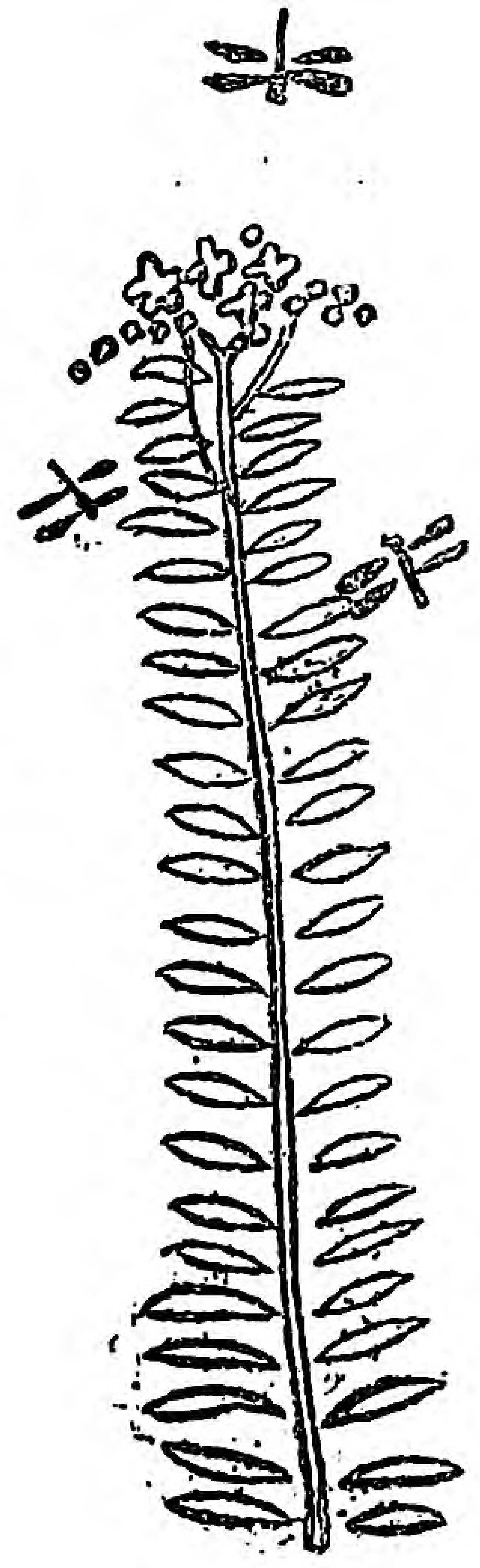
『あゝ天の神さまよ、この清い乙女の身の上に光榮を垂れさせ玉へ』

と起き直つて大地の神に祈りますと、彼女は何の夢をみてか、唇を少し動かし、につことしてゐます。

眼をさますと、誰もそばにゐません、是は不思議と聲を立てゝ喚ばうとしましたとき、奇しい夢からさめました。（をはり）

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



小説 友情（其四）

深緑

△

人から頼まれた大切な仕事、それも年老つた母が昨夜も遅くまでかゝつて、やつと縫上げた仕立物、これを持つて行けば幾らかのお金を頂けると母が樂しみに待つて居る今の途中で、恁した悲しい出來事に會つた靖代は小供心の一すぢに、泣くより外に術もなく情深い繁野の母にひたすがりにすがりつくやうな態度で只もうおど／＼して居ます。

「ねえお母様――どうかして下さいな靖代さんが悪いんぢやないんですもの、全く可愛さうですわ」

友の難儀の悲しさに胸が充満になつて、繁野も我を忘れて泣き出しました。

臺所から

十二月の食品

魚類　鹽鮭、鱈、鰤、鮪、鰡、鰡牡、
鳥類　鷄、雉子、鴨、其他小鳥類
野菜類　八頭、芹、獨活、小松菜、白菜、葱
果物　蜜柑、金柑、橙、
其他　海苔、生椎茸、等

醬油の用ひ方

醬油は濃い薄いで佳いのと悪いのと見分けが出來ますが、主として關東は濃くて、關西は薄いのです、けれども同じ濃い關東の醬油の中でも、最上等の醬油は色が薄く其下になる程色が濃くなつて行きます。關西で有名な龍野の醬油は色が薄い。

醬油が樽詰で買て置く家庭で、味の變らぬ樣に上手に使ふには、樽から出す口俗に云ふ呑口を下に附けると宜しう御座います。關西では大抵呑口は下に附けますが、東京では多く上に附けます。ㇿでも樽の鏡に附けるのが最も悪い扱かひ方です。下へ呑口を附けて置くと醬油の中の悪い部分か有ても底に沈んだ上つ皮から出て來ますから味に變りはありませんが、上に附け

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「どうしたらいゝでせうねえ」

こてゞのばしたり湯氣を通したりして見ても少し赤味をさした汚點がどうしても取れず、盡せるだけの手を盡したあげく繁野の母はほと〳〵困りぬいて吐息をつきました。

夕霧に包まれて庭の立樹の間からつく〳〵ほうしの聲は淋しい秋のあはれを語るが如く、靖代の苦しい心を共に泣くが如く顔を見合せたまゝ考へ込んで居る三人の耳に悲しい音色を傳へます。

「困りましたわねえ、運の惡い時といふものはどうも」

さつきからハラ〳〵と胸を痛めて居る靖代の姿に情け深い眸を向けて繁野の母は堪まらなく氣の毒になつて「幼い心には堪え難い心づかひ」と思つてホロリと涙をこぼしました。

「まあ仕方がありません——靖代さん二人で、河村さんのお宅に行つて見ませう」

と立上つて袴を直し帶を引しめて、靖代を引立て乍ら門を出ました。

二人連れ立つて行く夕暗の道、——何時しか時雨れた空の色は、靖代の心をいよ〳〵曇らせ、高子の家の門に來た時は、誰か彼かも見わけられぬまでに秋の夕べの帳に周圍がつゝまれました。

△

ると醤油を出す度びに一度横に倒し、更に逆さに立てます、醤油の樽の内側は多少カビや其外の物が着いてゐることがあります。逆さに揉まれた醤油は其内側を洗濯して呑口から出て來ますから度々之を繰り返す内には味が惡くなります

七輪は一度水に浸して使へ

お臺所で使ひます七輪はよく内側が落ちたり又少し火力が弱いと碎れたりしますが新しく七輪を買ひました時に一度水の中に浸してから用ひますと誠に丈夫で永持ちが致します。

堅炭は水をかけてから使へ

堅炭は臺所になくてはならぬ品です。この炭もお買入れになりました時に水を澤山かけて日に乾かしてからお使になりますと火の持ち方も良く少しも跳りなんかいたしません、何でもないやうでも、一寸した心懸けでよほど經濟になります。

大根の苦味をぬくには

大根の苦味をぬくには、ゆでる時に洗ひ米を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

「ごめん下さい」
訪ふ二人の聲を聞きつけて椽側に寢轉んで居た高子は飛び上るやうに起き上つて。
「お母さん杉本さんの小母さん」
と大きな聲で呼び乍ら奥に走つて行きました。
「さうかい」
縮れた毛を無理に鬢を張らせて、丸髷に結んだ高子の母は、でつぷり肥つた身體を見せて。
「さあどうぞお上り下さい」
と二人をむかへて不思議さうに同伴に來た二人を見くらべました。
「日暮れ方にどうもお邪魔しまして」
謙遜深い繁野の母はしとやかに挨拶をして風呂敷包を開いて今さきの出來事を殘らず話して。
「ほんとに靖代さんも可愛さうですから申し憎い事ですがどうぞまあ」
我子の過ちをわびるやうに心から申譯をする繁野の母の言葉を輕くうけながして衣服の事といふと、血まなこになる高子の母は仕立物を上から下まで念入りに目を通して。
「オヤこれですか、こんな汚點があつては着られないぢやありませんか、

布巾に包んで一緒に入れますと、苦味もとれ軟らかにもなります。

蕪の油煮

蕪を丸のまゝ能く洗つて、繊切として、鍋に油を引いて蕪をいり、豆腐を崩して入れ、油が能く廻はつた時砂糖と鹽で味をつけ、鍋を火から下す前に葱を切つて入れます。其豆腐の間に合ぬ時は鷄卵を入れます。

蕪菁胡麻和

蕪菁の兩端を切り捨て中かぶならば縱八ツ、小かぶならば縱四ツ位に切り洗つて水氣を斷り沸湯の中に入れて、ざつと茹でゝ笊にあげ、再び鍋に戻し、煮出汁と少量の醤油を加へ中火にかけ、淡味加減に煮上げて笊にあげて煮汁を斷ち、別に黒胡麻をいつて能く擂り、醤油をかへてときゆるめ、右の蕪菁を和へ、加減を試みて皿に盛ります、蕪菁は甘いものですから其の積りで下煮を致します。

みぞれ大根

大根の皮をむき、一分角位の賽目に切り、鹽をふりかけ、少時して、酢の中につけ、搾り上げ、別に大根を卸金にかけておろし、ざつと水を搾り、鹽少々を混和したる酢につけざつと搾り、右の賽形大根と混ぜ、之に鯨、コハダなどを

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

いくら何たつて家の子にはねえ」
眉に八の字を寄せて嫌な顔をしました。「私は正直者」といふ看板で、何でも彼でも言ひ度い事は言つてしまふ、高子の母の性質を充分知つて居る繁野の母も、あまりの無愛想に驚いて、
「それはもう御尤もですけど、全く災難で御座いますから」
「でもあなた災難だつて私の方が知つた事ぢやあるまいし」
我子の意地悪も知らずに。不平を云ふのが腹立しくてさすがの繁野の母も聲を強くして、
「さう仰有れば何てすけど、現在お高さんも其時居らつして靖代さんを困らせたお仲間ぢやありませんか」
「何ですつて、高子がしたといふんですか、お高さんやお高さんや」
疳高い高子の母の聲に奥から出て來た高子は、甘へたやうに母の側に來ました。
「お前、靖代さんをいぢめたらう」
「あらお母さん私なんかそんな事」
「うそ言ふか」
腹立しさうにふくらませた高子の頬をぴしやりと打つた、高子の母親の樣子に驚いて繁野の母も靖代も思はず慄へ上りました。

酢にし細く切りたるを混ぜて皿に盛り、甘酢をかけて供へます。

蒟蒻の鳥もどき

・板蒟蒻を千切り水を注して揉み洗ひ目笊に揚げて水氣を切り鍋に少しの胡麻油を煮立て右の蒟蒻を入れて手早くかきまわして狐色にして、新聞紙をひろげて其にあげて油をぬきます。別に根芹を茹でゝ水にとり灰汁ぬきをして固く搾り揚げて二三分に切り小鍋に濃い煮出汁と醤油少々入れ混ぜて蒟蒻を入れてざつと煮て芹と共に椀に盛り別に煮出汁に鹽を少し加へて沸して注ぎ込み粉山椒を撒けます。

鰯のつくね揚

いわしの肉を摺り、裏漉して、之に葱のみぢん少しと玉子の黄味少しを加へ、能くまぜ、適宜の大さにつくれ、之を胡麻油にてあげ、目笊に入れおき、熱湯を掛け、油をぬき、之を吸物の種又は甘煮といたします。

即席奈良漬

これは蕪菁を用ふるに限ります、蕪菁を洗ひ其まゝ竪に三分程の薄さに切り、暫く鹽につけておきましてから水で洗ひ、布巾で其水氣を取りこれを燒酎に三盆砂糖を加へた汁の中に暫く浸して置き、食べます時よき程に切ります、もし翌日に用ふるのでしたら味淋に浸す方が味は結構です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

△

高子の母の權幕はいよ〳〵烈しくなつて、

「お高さんお前は母さんがあれだけ言つて聞かせてるのが何故わからないのか、お前がふだん意地惡だから恁んな事いはれるんだよ、これごらん折角苦心して買つた着物がこんなものになつてさ、これも皆お前のせいだと言はれるぢやないかお前のふだんが惡いから」

泣き出す高子をなほ〳〵たゝいて、腹立まぎれの八ッ當りをする母親の權幕に恐れて、

「まああなたそんなに」

止めれば止める程わざとたゝいたりつゝいたりする見苦しさに、もう居堪らなくなつて、

「まあとにかく一應持つて歸つて、また參りませう」

二人はすご〳〵と門を出て暗い田舍の町並を淋しく歩いて行きます。

と向ふからせわし氣に歩いて來る、靖代の母にばつたり出會つて、

「まあ」

と兩方から聲をかけて、靖代は母に抱きつくやうに、

「お母さん、わたし――わたし」

と後は涙で聲も出ずに泣き入りました。

干大根の福神漬

干大根の太いのは四つ割にして小口から一分位に切つて味淋一合醬油二合を一緒に煮たゝせ冷まして中に唐辛一ッ二ッ入れて、それに一週間程漬けます。

蓮根のおろし煮

皮を剝いでおろし金でおろし、水氣を去り、之を器に移して小麥粉を少し加へ、よくかきまはして二錢銅貨大に丸め、別に鐵鍋に胡麻油を入れて沸騰させ、その中で例の丸めたのを上げるのである。

かくて上つたならば之を目笊にとりあげ、一二回も熱湯を注いで油氣をぬき、更に別に鍋に入れて、濃い鰹節煮出汁と醬油とを加へて味の加減をみ、又中火にかけて、三四回も沸騰させる沸騰したらば、蓮根を目笊にとりあげ、水氣を斷つて皿に盛り、殘りの汁の中へは、水を斷つたおろし大根を入れて、飯杓子でかきまはしたものを、右の蓮根の上にたらしかけるのである。

蓮根の煮つけ

先づ節より折り大きければ適宜に截り、皮を剝いて水で洗ひ、更に適宜の厚さに截り、鍋にいれてその中に並べろ、それから大蓮一本に五匁の砂糖と五勺の醬油を加へ、そのまゝ中火にかけ、よく飯杓子にてかき廻しながら煮汁の煮つまつたろ時、鍋をおろし、皿に盛り分けろ、ほどよく煮出汁を加へて煮込むも差支なし。

理想形櫛入の作り方

（一）準備すべき材料

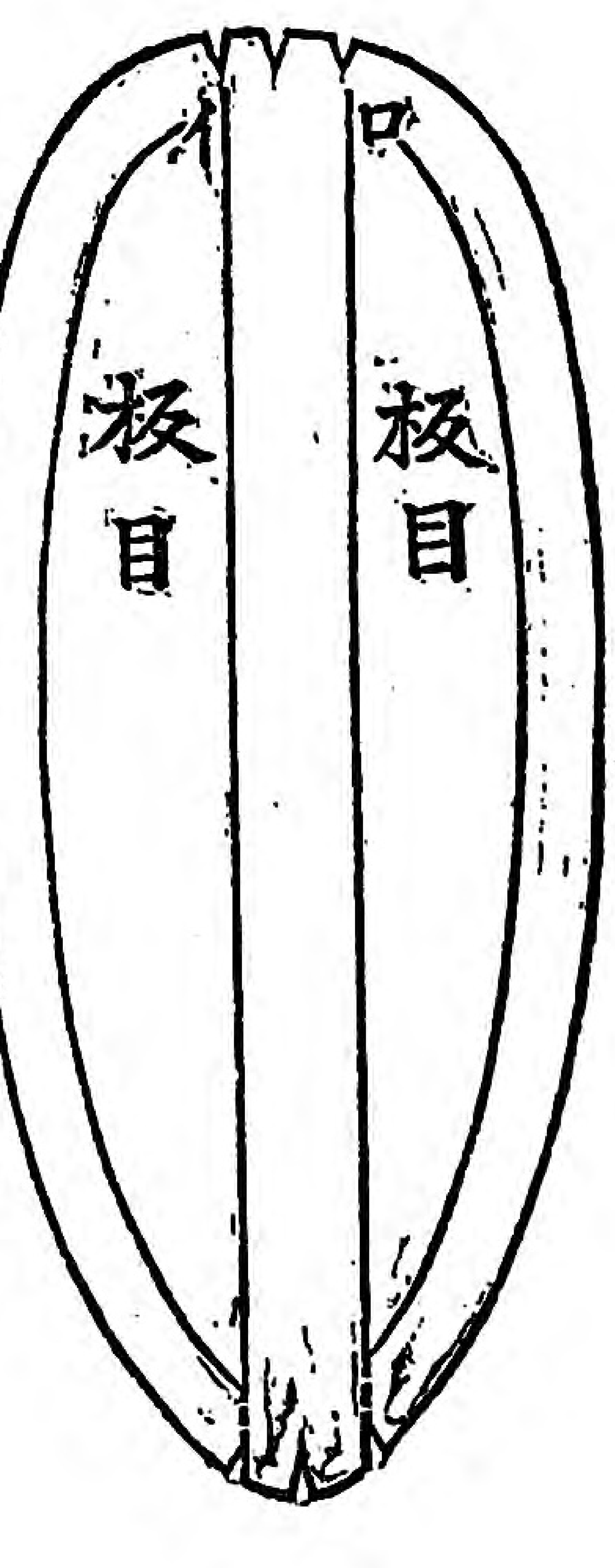
表用布としては鹽瀬若くは羽二重、繻珍の類にて巾四寸五分、丈二寸八分、裏用布巾四寸五分、丈一寸（用布隨意）、竹紙巾一寸四分、丈四寸五分、櫛形の鏡一枚、板目紙、緣り革（巾二分、丈九寸五分）等を用意致し置きます。

（二）製作の順序

▲型紙の裁ち方　最初圖にある表型を半紙にて一枚裁ち、次に板目紙、竹紙等をも裁ち置きます。

▲貼り込み方　先づ表型の周圍に五厘位の深さに糊を布きまして表用布に貼り附け、其の左右に少しく袋取りをして鏝を當て、周圍は型通りに裁ち切り、表の方より緣糊をして置きます、次に裏型に糊を附ける方としてあります方へ糊を布き、裏用布に平らに貼り、四隅の切取の箇所丈を殘して型通りに裁ち切り、周圍に緣糊をして置きます。次に最初裁ち置きました板目紙を表の（イ）（ロ）の所に貼ります（第一圖）而して周圍に線を引きまして板目紙の方へ糊にて伏せます。之れにて表は出來上りました。

次に裏型の（ハ）の切込の所に箆にて線を引き糊を布きて伏せて置きます、而して前に裁つて置きました竹紙の（ハ）の印を合せて裏型より五厘引かせて磐石糊にて貼り付けます、而して竹紙の折目の所より（ハ）の方へ折り返へしまして貼ります、次は裏型の上下を表型の丸に做つて伏せ込み之れにて裏は出來上りました。



▲仕上げ方　次に出來上りました裏に磐石糊を附けて、表の（ロ）の方へ五厘位引かせて貼り附け、鏡の周圍には磐石糊を附け、皮を五厘位出して周圍に貼り、次は其の五厘の出たる所に磐石糊を附けて鏡の面の取りある所を貼り附けます、而して裏の方へ出て居る皮を糊にて貼り出來上りと致します、尚鏡の裏即ち皮の處には磐石糊を附けて、表（イ）の方へ貼りまして全部出來上りと致します。（材料は東京本鄕弓町二丁目十番地倉持本店に注文すれば送つてくれます）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

良妻賢母とは何のことですか

みどり

一

云ふ迄もなく我が國の女性は、今日迄良妻賢母主義のもとに、敎育されて參りましだが、此良妻賢母主義が果して女性に對する萬全の敎育方法であり、吾々女性も此良妻賢母主義を最高なる理想として、遵奉すべきものでありませうか。

最近一部の識者の間に女性も一人の人格者として、取扱はればならない、人としての敎育を施さればならない、良妻賢母主義と云ふことはつまり女大學より、あまり遠くを離れ得ない、一種の奴隷敎育に、美麗なる衣を着せた名稱に外ならないから、女性が最高の理想とすべきものでないと云ふ、議論を拜聽することが、度々あります。

此有爲改造の秋に當り吾々女性は何如なる方向に向つて進むべきでありませうか、如何なることが、吾々女性の衷心よりの要求であり、また如何なることを最高の理想とすべきものでせうか、傳統的因襲のみを事とせずに、此際皆樣と共に夫れ等のことを、一ツ研究して見たいと思ふのであります。

二

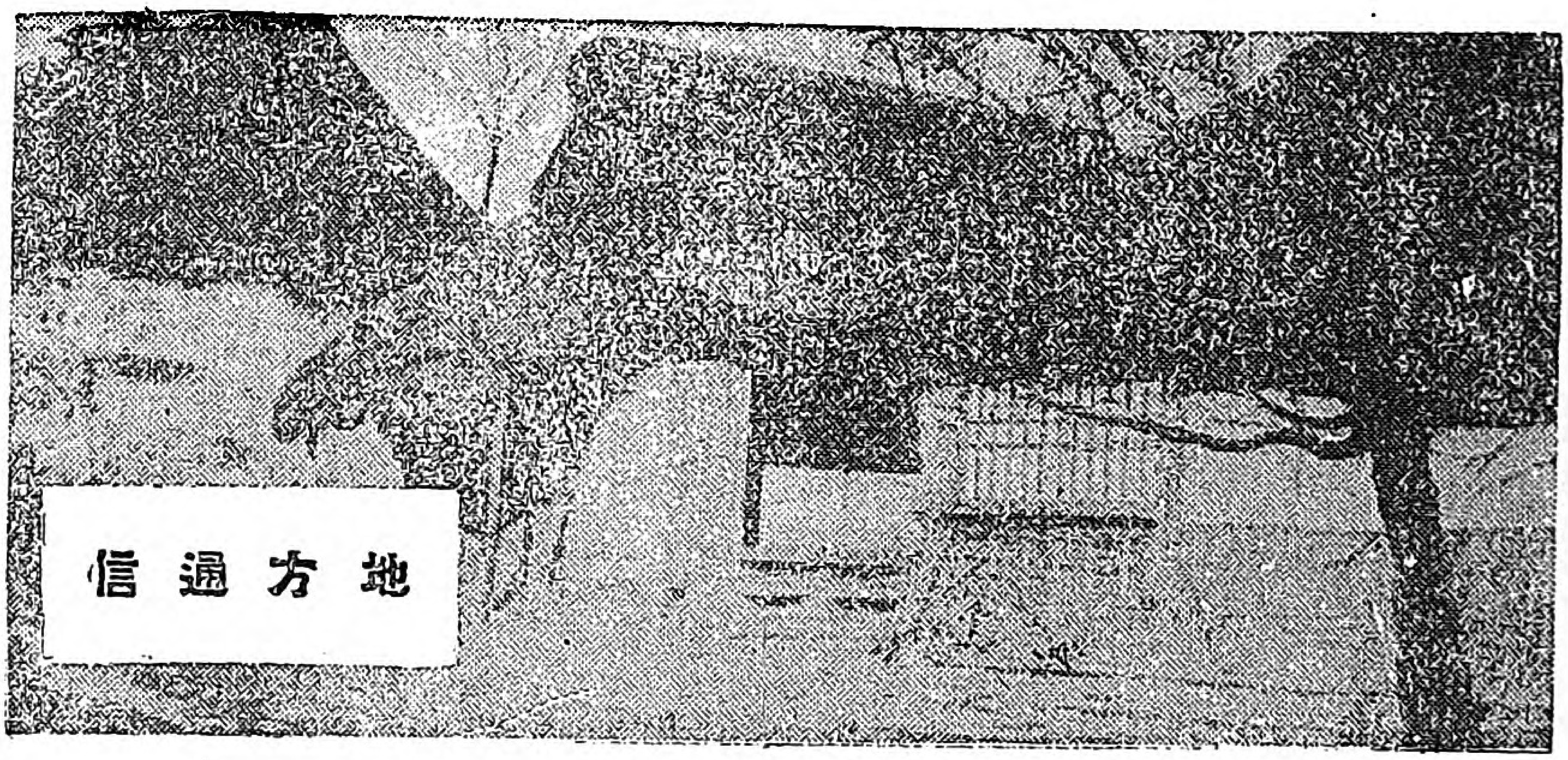
ものにはいつも例外はありますけれど、多くの場合今日迄の良妻賢母の實質を解剖すれば吾々女性が理想とするには、あまりに屈辱的な奴隷的なものではないでせうか、つまり女性の人格を無視し、男子と家庭との良き奉仕者良き奴隷、良き勞働者たらしめ、女性をして、如何なる理性も、自由も、平等も、犧牲とならしめ、心身共に擧げて男子に奉仕すべきを强制するの意義ではないでせうか、尤も良妻賢母主義の起源は、以前女子に高等敎育を授くるの可否と云ふ、今日よりすれば、馬鹿氣切つた事が、問題となつた時代がありましたが、其時女子敎育賛成論者が、反對論者に抗ずる一ツの良策として良妻賢母主義と云ふことを、考案したのでありますから、女大學を離れ得ないのも、隷屬敎育となりますのも、現時の大勢に逆行するとの、非難を受けますのも、また止むを得ぬことでありませう、從て女性のため萬全の理想にあらざることは云ふ迄もないことです

良妻賢母の美名に迷ふていつ迄奴隷の境遇に居るでもありますまい、以下私の意見を少し云はして頂きます。（一九二一、一〇、七）

○夫婦の格言

貞婦は最も神聖なる朋友たり
快樂の世界は要するに妻に存す
妻は天の特別なる賜なり
良妻は神にもとめよ
急に結婚すれば後に悔ゆることあらん
妻は花嫁よりも貴し
夫婦和合の秘訣は秘密なきにあり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



皆さんからのお便り

一夜講習會

岡山縣　阿波村處女會の一會員

一夜講習は青年團や修養團員等には屢々行はれてゐますが、私どもの村では處女會の一夜講習を致しました。何にも事新しいと言ふ事でなく、此の會によつて私どもの心を清らかに美しく修養さして頂いた事、そして得る所が澤山ありましたのを參考までにお知らせ致します。主催者は助役、信用組合長、僧侶、巡査の各顧問のお方と、處女會の會長でゐらつしやる校長さんでした。時は九月二十五日から二十六日にかけて、村内の摩尼山高福寺の閑地に於て開催されました。午後五時に集合、同六時に鐘を合圖に夕食、七時より行事に遷り、先づ第一に、對禮から國歌奉唱、會長さんの勅語奉讀、副會長さんの開會の辭、僧侶森顧問さんの指導のもとに靜座、それから「心の力」の朗讀後講話に遷り猪頭巡査部長、福田上加茂小學校長の御講話を拜聽して懇談會を開き、各會員の餘興がありまして、鐘を合圖に十一時に床につきました。私ども四十一名の寢具は私達の村の二十五名の、修養團員の御盡力によつて、全部準備されたのです。私どもは心から修養團員に感謝してゐます。二十六日は鐘を合圖に四時に起床寺庭で體操を致して洗面し後東方、皇城伊勢大廟に向つて遙拜し、「心の力」を朗讀して靜座をなし、猪頭福田兩講師から有益なお話を聞き、本多理事が會員を代表して謝辭をお述べになり、會長さんの閉會の辭があつて記念の寫眞を撮つて朝食を終り、惜しい袂を別ちました。私どもが此の講習會で一番心にしみましたのは顧問の森僧侶は私たちが十一時から朝の四時まで暖い蒲團の中で休んでゐた間、一睡もせず板間で靜座してゐられた事で、私は斯うした顧問を頂いてゐる事を名譽と思つてゐます。

私の村の處女會

愛媛縣　ちぐさ

一、久枝村處女會え見學

一月廿四日一點の雲も無い絕好の見學日和でした、會員百名ばかり綿服におにぎりと言ふ輕裝で、松山市の札の辻へ集合し九時より會長の二宮先生、小學校の大石訓導に引率されて先づ煙草專賣局へ參り

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

製造の順序を詳しく見聞しました然し當日は女工全部休日だつた爲、作業中を親しく見る事の出來なかつたのは、誠に遺憾でした。それより廿二聯隊へ參り週番士官の案内にて規律正しい軍隊生活を見學し、殊に聯隊の斡旋にて兵士の娯樂場にておべんとうを開き、少憩の後常石中尉の西比利亞の談を聞きました。最後に女に特に必要な繭糸の生産所へ參り眞面目な女工さんの働き振を見て自由解散をして家路を辿りました。

二　教育活動寫眞

同月三十日丁度教育勅語三十週年記念日の午後七時より同村小學校で教育活動寫眞を映寫しました私の參た時は立錐の餘地も無い有樣辯士は溫泉郡の社會教育主事宮内嘉綱先生で熱辯を振つていらつしやいました中間でしばらく教育に關する御講話があり村民に多大の教訓を與へました「時間を確守する事は地方改善の第一歩である」には共鳴しました。

私の使命

佐藤きち子

記者樣私は御誌に依つて只今は平和なる日を送つて居ります私は學校を終へると上京して勉强いたしたく幾度も父母に許を請ひましたがいつも一言のもとにはねつけられましたお前の樣な親不孝な者はないと歎息なさる老父母を見ては私も身を切られる思ひに又我心中より起る希望とでついに煩悶の日を送つて居りました、かくて、六年間の貴い年月を父母に心配を懸け自ら求めて（私は自分の境遇を精神的にもつと向上させたい又父母の老後を物質的にも精神的にも心やすけき日を送らしてやりたいと思つて我成功を希つたので）ずいぶん苦しみました

今年より處女會の設立により、處女之友に導かれるやうになりましたいつもながらの御親切なる御誌の記事に依り、親に孝なるの眞理を理解いたしました、私は只老ひたる父母をして心安けき日を送らしめるのが私の目的で御座います、他の人からは平凡に見えても、時代後れのやうに見えても私に取つては大いなる使命で御座います、大いなる抱負で御座います、かくて、意義ある生活の出來るのも、之れひとへに御誌の賜物で御座います、記者樣いつもお變り無く、處女之友にお奮ひ下さいまし。

節婦のお話

香川　高木比佐子

私の常に慕つてゐる一婦人のお話を少しばかり書かして頂きませう憚るところもあるので、名前はかへます。

私の遠縁に里野さまといつて、いたつて賢明な御婦人があります。夫は呉の海軍に、三四年前迄奉職してゐましたが、ふとした事から病の床につき、とう〱軍職を退かなければ、ならないはめになりましたので夫婦に二人の子供を連れて歸郷しました。平和なそして靜かな田舍でゐれば、少しは孝養の甲斐もあるかと思はれたのでせう。物質上には何も不足もありませんでした、けれど、一言肺病と云ふ名をきいた夫の親達や兄妹は、とてもなほらぬ者と思つたのか、白い目でさけられました。其の間の里野さまの御介抱は見る目もおいとしゆうございました。そして大事に看病なされました。今までは奥樣で立てられた身も郷里の土に親まなければなりませんでした。里野さまは田畑から歸つては夫にやさしく義理ある皆さまにも、どんなにいわれても不平顔一つ見せずに、せつせと働きました。

それには彼女に不幸な中にも亦樂しい或物がありました。それは病に苦しみながらも夫の愛と何をしてもひるまぬ心と、丈夫な强い體とがたまものでした。言葉に盡せぬ悲しいことがあつても、腹の立つ出來事にあつても、彼はちつとも恐れませんでした。胸に涙を流しても顔にそれを表しません。他人にはやつぱりやさしい御婦人どして慕はれてゐました。彼には人も自分も解する事の出來る美しいしかもゆかしい熱情が心を通つてゐるのでした。「まあよく病人を看護しながらあれ程の働きが續くものだ」と近しい人はよく語りました。彼女は何事にも誠

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

盡にはげみました。けれど彼夫婦にはやがて黒い雲に取りまかれました暑い〱八月に最愛の妻子を殘して夫は遠い旅に供はれました。其の時の里野さまの悲しみはたの見る目も泣かされました。あとにはいたいけざかりの一人の女の子と自分（子供は二人ありましたが姉の方が父より先に目をわろくしてなくなりました）。

あとを思ひ、先を考へ、敬愛した夫に別れた後の涙にをくる彼の姿はやつれてゐました。

今わのきわまで、まくらべにつきそふたのは、彼等母子とやさしい近所の友とでした。夫の親戚の世話する樣な事はありませんまして兄妹のよりつきも致しません傳染が恐ろしかつたのです。

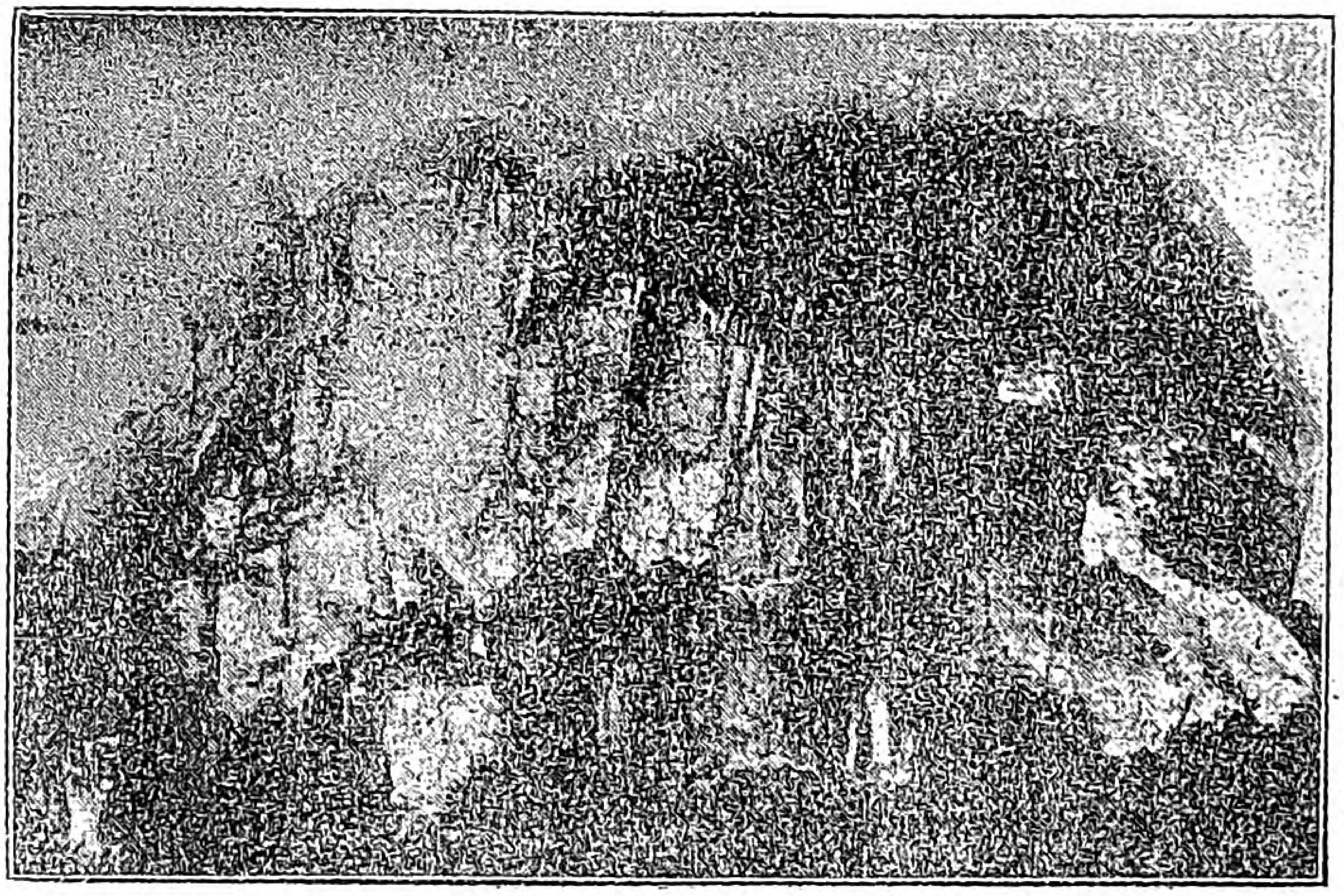
けれど里野さまばかりは、よく一家の妻たる道を盡しました。夫の逝去後は早や三年にもなりますが、一人の女の子の成長を樂しみに、義理ばつかりのある中で、それでも快く働いてをられます。

再緣を進める者もありますが彼はいつも夫の遺言を守つて、我子の教養に心をそゝぐかたわら、今まだ、三十に足らぬ身を、それでも丈夫で毎日〱農に働いてをられます。或時もう「農からは落ぶれはしまい」と笑つて申されました彼女の半生は涙が多うございました、けれど强い丈夫なそしてやさしい身心はいつも如何なる境遇にもうち勝つ事が出來ました。淋しい中にも誠實に一人の遺子を樂しみに、近所の同情を一身に集めて、はたらいてをられます。

極樂淨土の如き田園

福島縣　大桃七雄

私は一寸親愛なる純潔無垢な田舎の處女さん方に申します。外でもありませんが、近來世の中の進歩發達に連れ都人の夢想だにせぬ田舎の寶庫が漸く世人の注目する處となり、田舎の開發などゝ數多の資本家や事業家等が入込んで參りますのは、誠に結構の事であります。今まで世の中の事情にうとい田舎人も、次第々々に文明の恩澤に依り、埋木に花咲く、幸福な境遇に導かれるのであります。然しこうした幸福な裏面には又言知れぬ何物にもかへがたき弊害が醸され、神の國の如き神聖な平和郷もあたら上下反覆の止むなき悲境に陷る例へも少なくないのであります。これ何に起因するかと申ますれば、交通の發達と事業家等の侵入は種々なる智識階級の者を齎し來ると同時に、恐ろしき罪惡が輸入されて來るのであります。然るに無垢なる田舎人、殊に何等の經驗なき若き人々には、此等の罪惡を罪惡として目に映ぜずして、總てを善意に解して接觸せられ終に恐ろしき毒牙の捕虜となるのであります。少さき私の村にさへも惡魔の甘言に弄せられて、他鄉の空に涙の日を送つて居る者が五六人あります又俗惡なる都人の風致は虛榮心をそゝり、農村忌避病、都會憧れ病などを發生せしめ、益々農村の基礎を危くするといふ事は、實に遺憾に堪えないではありませんか、茲です强くやさしくといふ教訓は大に此等の害毒の防止を計り農村維持改發は努力せなければなりません。茲に於て風致の獨立を御願致したいのであります、實に農村の盛衰は堅實なる處女さんの覺悟と決心



乳岩山風景　（愛知縣北設樂郡川合處女會員寄）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

とにあるのであります、成程皆さんは年頃として美しい着物も着たいでせう、香りのいゝ油も使つて見たいでせう、華かな都會の生活も羨しいでせう、然し茲です、茲です、茲に於て皆さんの覺醒を御願致したいのです、あの美しい着物よりも白の手拭に赤襷、農閑に織りしあの仕事着、香りのいゝ油よりも汗の香の方がどれ程貴いか知れない、あの俗悪な外面美の都會よりも四季折々變る自然の景色、朝夕聞ゆる自然の音樂さながら極樂淨土の如き田園の方が如何計樂しいか知れない、皆さんは實際都會の裏面を知らんから憧れるのです、都會は丁度沖を走る白帆の如きもので、遙るかに眺むる時は其美言ふべからざるも、岸邊に着きし時よく見れば帆は破れ、雨にはにぢみ、實に見つともないものです草木でさへも吾が日本が何處までも純日本式を發揮して、世界の覇王たらんとすると同じく、田舍は何處までも田舍として市井の感化を受けず、純田舍式を發揮して神聖なる神の國の如きでなければなりません、茲に於て農村の世にほこるべき美しみがあるのであります。田舍に居つて都人を眞似たり、農家の女子が他職に身を委ぬるなどは以ての外です、親愛なる皆樣よ、どうぞ自己の爲め地方の爲強くやさしく眞面目に働て下さい。

可憐なる一少女

北海道 多胡善三郎

中國の要鎭第五師團司令部の所在地廣島縣より、遙々兩親と共に北海道膽振國室蘭より數里此彼へ移住して來た一少女があつた。

暫くして、更に又石狩國空知郡上富良野某所へ轉住して、農業を營む内計らずも父は當時十五歳なる可憐な少女と妻とを殘して彼の世へ去つた。

母子の悲嘆は如何ばかりか然るに近所某果は甘言を以て永久娘を世話すると約束して養女とした、

從順なる彼の女は良く養親に仕へた。引換へて養父は飲酒の惡癖ありて樣々に彼の女を虐待する樣になつた。けれども温順なる彼の女は附近の人々が實家に歸れと勸めでも辛棒して、而して日夜悲哀なる生活が續けた。

無情なる養父は終に可憐なる彼の女を牛馬の如くに膽振での知人某へ一日何十圓と云ふ大金で渡したらそして彼女は酌婦にされた。

彼も今迄の境遇を思ひ斷然其要求を排した。彼の女は亦第二の悲哀に泣かねばならなかつた。

兎ある内に土地の病院主に見留められ其家に起臥する事になつた某は院主より相當の金を取りしならん彼れの言にては向二ヶ年は義務的に院主の命に從はねば成らぬと云つた。

今は看護婦として其病院に無くてはならぬ一人となつた。而て病院主の近親のみ集まれる冷したき家庭にありて唯院主の慈愛を浴して日夜勤勉して居る。

嗚呼可憐なる少女よ自分は其病院へ少々の疾患にて入院し或夜此物語りを耳にし情にはもろき自分は感激の餘り共に暗涙を催した。

而て某の要求を退けたる雄々しき心と務むる彼の女の心抵には感嘆せざるを得なかつた。

嗚呼前途如何に成り行くか可憐なる彼女の運命には一片の同情を禁じ得なかつた。

神よ彼の女の前途に幸福を與へよ。

○新年號の豫告

新年號にはいろ〳〵面白い記事を載せたく考てゐます、皆さんからも奇抜な記事お送り下さい。今の所二つ三つ内所に御披露しますならば次のとうり。

○青年處女大番附○處女の手で出來た處女會○女ばかりのお話○乙女のなやみ解决○喜劇女店員募集○其他教訓と趣味とにみちた記事一ぱい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

全國處女會 婦人會 主婦會 一覽（其九）

愛媛縣（續）

名稱	創設年月	會員數	會長氏名
浮穴郡			
菅生村處女會	三、八	三七	長賀部操
仕七川婦女會	六、二	五三	新谷末三郎
父二峰村處女會	七、四	一一五	久保雅晴
川瀨村直瀨處女會	六、二	四五	篠崎覺一郎
本村婦人會	四、一一	一三	西野ハナ
石山村婦女會	四二、八	六三	宮城菊丸
城山處女會	七、七	一五	石丸勘藏
明神處女會	七、一二	六〇	未定
笠方婦人會	三、九	一三	安川シナ
高地處女會	未定	一二	未定
休場少女會	四、六	七	內川一女
臼杵少女會	七、二	三五	水中サキヨ
淺妙少女會	三、三	六八	宮下カツノ
三島處女會	三、〇	一三〇	毛利輝
三間村處女會	四、七	七〇	増田トキエ
泉村處女會	五、三	七五	渡邊トモエ
明治村處女會	四、一	一六五	兵頭隆行
來村處女會	四、二	一五五	西岡榮藏
成美婦人會	元、八	八〇	河添光貞
好藤處女會	二、七	七〇	松浦德一
南君處女會	四、一	五三	深井重高
日吉村處女會	六、一	七〇	上甲通貞
北宇和郡			
喜佐方村處女會	四、〇	五六	清家ツル
岩松處女會	六、九	八一	加藤眞七郎
高田處女會	三、一二	三三	國松マキ子
近家處女會	三、一〇	三二	上田カカ
吉野處女會	四、四	六〇	長谷川直展
宿之浦婦人矯風會	二、一	八	朝倉傘
御槇村處女會	五、一〇	四五	河野カヨ
九島處女會	六、二	一一五	越智通明
主間尻處女會	四四、三	不詳	玉置登喜衞
結出處女會	七、二	九八	小笠原昌眞
旭村處女會	四、八	一一一	黑田元一郎
立間村處女會	三、一一	六五	善崎寺三治
増穗處女會	六、一	七二	淸家正雲
愛治女子靑年會	三七、三	一〇〇	玉井ヤス
成處女會	三、九	四〇	小幡ウタノ
宇摩郡			
川之江婦人會	不詳	九八	柳原角三郎
山田井處女會	同	二八	白川幾太郎
上山處女會	同	一五	川西廸三郎
上山村西部處女會	同	一五	豐田關男
三島町婦人會	同	一五〇	缺員
平野山婦女會	同	一九	鈴木武夫
南小川處女會	同	二〇	靑野淸之助
富鄕村東部處女會	同	四二	河內正輝
豐岡處女會	同	七五	鈴木浦之助
寒川處女會	同	七一	三好靜晴
皇道婦人會	同	一〇五	同上
天満婦人會	同	一一七	潮見喜作

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

徳島縣

勝浦郡

福原村處女會	七、三	一七五	長木イシ子
勝占村處女會	七、九	二三八	未定

三好郡

大連婦人會	六、四	二三	寺尾來助
加茂村婦人會	四、三二	一五〇	白川エイ

香川縣

小豆郡

土庄町處女會	六、二	一八〇	八代敎
土庄西部婦女會	六、二	一七一	横井ナカ
大鋒村處女會	三、四	三六	米岡好太郎
池田婦人會	三、七	八〇	柴田ムラ
池田處女會	六、二	一〇〇	同上
二生村婦女會處女部	五、一〇	四五	平井ウタ
三都村婦人會	四、七	四八	柴田トヨ
草壁町處女會	三、七	一二九	中桐ナミエ
安田村處女會	二、四	五九	高橋ツヤ
苗羽村處女會	五、一〇	六三	山本藝太郎
福田村處女會	三、九	五〇	森靜次
吉田婦人會處女部	五、三	一五	山崎コト
大部村婦女會	二、七	二〇二	佐伯カネ子
北浦村處女會	六、一〇	四五	高木梢
唐櫃處女會	四、四	四一	山田フサ
豐島處女會	四、四	一五〇	長町君子
甲生處女會	未定	未定	未定

綾歌郡

島村處女會	四、一二	七九	友國還
小田村處女會	四、七	一三九	近藤甚三郎
造田村處女會	四、一〇	一一三	遠藤伊之助
香西處女會	四〇、五	二四五	片岡ツネ
栗林村淑治處女會	四三、八	三四五	三木ナラ
太田村處女會	四四、一一	二五〇	松本ミツ
鷺田村處女會	四四、五	一七〇	山木ヤス
一宮村婦女會	四三、二	二五〇	高本フヂ
由佐村婦人會	四四、一一	二五二	加藤コウ
擠紙村婦女會	四二、七	八一七	辻ウタ
弦打村處女會	四二、三	二五七	岩崎コエ
上笠居婦女會	三、一	三六四	川崎甲太郎
下笠居村處女會	四四、八	一七八	高橋コエ
女木島婦人會	四二、一一	一五九	松下トキ
男木島處女會	四二、一一	七五	小泉コト
直島村處女會	四二、一〇	三五	香本茂一

高知縣

香川郡

神谷村婦人會	三七、八	四五	尾崎熊子
森山村婦人會	三七、六	二六〇	秋永姬尾
浦戸村婦人會	七、八	三六〇	濱崎梅乃
弘岡下ノ村婦女會	五、一一	一〇六	若尾廣德
芳原村婦人會	三七、七	一六九	鈌員
長濱村慈校會	七、一	二三九	安並馬吉
明治村婦人會	三八、一	二五〇	淸原尙
小川村婦人會	三〇、七	八〇〇	淸川次枝
諸木村敎育後援會	六、三	四五〇	高橋益
池川婦人會	三七、七	一五五	赤堀梅代
横畠村婦人會	二七、四	七五	大原登勢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女新報

十二月號

明治神宮鎮座祭

日本國民挙つて至誠を捧げ奉りし明治神宮は代々木ケ原に、内苑、外苑共に美々しき御造營なり十一月一日いとも莊嚴なる鎮座祭を行はせられました。東京市民の當日歡喜に充ちた熱誠を以て我も我もと參拜した有様は壯絶、崇厳の極みでありました。

明治神宮の結構

長くも明治神宮御造營に就ては伏見宮殿下を總裁に仰ぎ奉り約二十二萬坪の宏大な敷地に六十萬圓の國費と多くの代表的技術家を揃へ、地方青年團其他多数の國民誠心誠意の奉仕により足掛六年を費して完成したものであります。

米國大統領

米國の大統領は今までウヰルソンといふお方でしたが今度ワーレー、ジー、ハーデイングといふお方が當選されました、ハーデイング氏は日本に對して快い感情を持つて居らるゝので我國としても嬉しい事です。

東宮御昇進

十月三十一日官報號外を以て皇太子殿下裕仁親王殿下は陸軍少佐、並びに海軍大佐に御昇進遊ばされました。

花の日會の活動

花の日會では十一月一日より三日間明治神宮鎮座祭に代々木、青山、新宿の三箇所で紅白の菊花(一本五錢)を賣り大へん盛んでありました。

兒童の睡眠時間

生後一ケ月より六ケ月	十五時間より十六時間まで
七ケ月より十二ケ月	十三時間
一歳より一歳六ケ月	十二時間より十三時間
二歳	十二時間
三歳	十一時間
四歳	十一時間
五歳	十時間より十一時間
六歳	十時間より十一時間
七歳	十時間
八歳	十時間
九歳	十時間
十歳	九時間より十時間
十一歳	九時間より十時間
十二歳	九時間より十時間
十三歳	八時間より九時間
十四歳	八時間より九時間
十五歳	八時間

健康十則

(一)運動　充分運動せよ而して快活の氣を養へ

(二)食事　口中に食物のある間は湯水を飲むなゆつくり食べよく噛め、みだりに間食するな、

(三)歯磨　毎朝歯を磨き食後には必ず口を嗽げ

(四)便通　一日に一度は必ず通じをつけよ。

(五)清潔　身體と衣服と精神とを清らかに持て朝起きたら冷水摩擦をせよ食前には必ず洗へ

(六)交友　友人とは仲よくし幼い者を勞れ然し傳染病にかゝつて居る人とは交るな

(七)禮儀　クシヤミやセキをする時はハンカチフで口を覆へ人の面前でセキやクシヤミをしたり鼻をかむはよくない。

(八)熱心　學ぶにも働くにも遊ぶにも熱心なれ

(九)睡眠　年齢相應に睡れ、眠中は窓を開けておけ

(十)起居　快活なれ常に居所を清潔にし住心地よくせよ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女文壇

（賞）異郷の姉を慕ひて

福島縣　富田まさ子

淋しい秋の夜の月は高く冴えて居ります。

姉様御變りはありませんか私はあの御親切なお言葉を守つて懸命に働いて居ります。

姉様ほんとうに月日くらひ早いものはありません。御別れしたのは二年前の丁度今頃でした、あのあはたゞしい停車場の一隅に二人で腰掛け盡きぬ物語も束の間、無情な時間は刻一刻とせまつてピユッと鳴つた滊笛の音……あゝ其の瞬間姉様は車上の人とおなりでしたね、……私どんなに悲しかつたでせう、そしてけたゝましい滊笛の聲其の時の私にはどんなに恨めしかつたでせう。黑く紫色の烟を殘したまゝ……其れは悲しい思ひでした。長い間の御別れと思へば無理を言つて困らした幼い時代がなつかしく思はれます。

姉様あなたは今何して居らつしやいますの、屹度あの高い月を眺めて故郷を思ふて居られる事でせう、言ひ知れぬ悲哀をこめた秋風が梢を吹く時姉様……私は異郷のみ空を眺めてあなたを慕ふて居りますのよ、そして不幸なあなたに幸あれかしと祈ります。

姉様…・秋は淋しいものですれ丁度私等の其の様に、……何處からか、かすかに聞ゆる犬の鳴聲にも秋の調べのこもりて靜かに夜は更けて行きます、姉様どうぞ御身御大切にではお名殘惜しい筆をとめます

評　どんなにか姉様がおなつかしいでせう

（賞）私のたわごと

岐阜　竹腰よそ枝

もの淋しい秋も、日一日と深み行く、總ての草木が紅葉に色どられると云ふ秋になりました

みどりもこい葉蔭に福よかな姿を現して眞白な茶の花が咲きました愛らしい茶の花が—

あの歌に詩に賞せらる梅の花によく似た茶の花、お前は何故かくまでに人に知られないのかいゝえ心ある人は知つてもいるでせう、賞してもくれるでせう、

若しも私達處女だつたら、

麗しい氣高い梅の花は都のお嬢さまではありますまいか、淋しいお茶の花は閑靜な地に神聖な田園生活に滿足してる、純な田舍の處女でわありますまいか、—

今日も畠でおとなしく咲ている、茶の花を眺めながら私はこんなことを想いました。

評　全く貴女のお考へになる通りです。

（賞外）ある夕暮

滋賀縣　中川　とら

後になり前になりほそい草深い野道を友と二人で家路についた。邊りは一面夜の帳に包れてゐる、友の肩にした鍬が時々美しい月光にてらされまばゆくかゞやく。

明日の村やすみの樂しさを胸にゑがいて身も心も浮々として「あすうちへ來とくれやすな」「でも一度うちへ來とくれやすや」とお互に同じ言ばをかわすのみでゐた。思ひがけなくはだ寒い夕風に道ばたの紅萩がほろ〳〵とこぼれおちるのが見える。

遠くの方で「もうおしまひやす」と言ふ男の聲が手に取る様にきこゑる。あゝ足が冷たいと思ふとそれは蛙が小便をかけておいてさつ〳〵と叢へとび行くのであつた。

評　ほんとに面白く書いてあります

「秋」

靜岡縣　齋藤ゑつ子

庭の千草に夜毎をすだく虫の音も、雲間に冴ゆる月影も、松が枝ならす秋風も、嗚呼人々の心には何と響く事で御座いませう。物の哀れの數々ある中に私には如何ともこの秋の景色に接して盡きぬ感にうたれるの止むを得んので御座います。銀糸をたれたやうな秋雨、軒端にむせぶの日、ダリヤのしほらしう咲く様ありし昔の事ども思ひ浮べる私が胸に……私のなつかしい友こそ凋みゆくこの秋の千草と、同じやうで御座います。嗚呼靑春の花迄に小さき實も結ばで散りゆくとは。今はこの世にあき人よ。

親のなさけ

神奈川縣　小澤ひろ子

「此様に家が忙しいのに私もう學校は止めても宜いですわ」、父上は默して居られた。所が此頃或人に娘も折角此所迄仕上げたものですからと仰言つて居るのを聞いて自分は障子の蔭にひそかに涙をのみました

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女歌壇

賞

天

めしひなる子の手を引ける母親の悲しき聲に歌ふ舞歌　富山縣　宇田　燕子

評　母と子のさすらひの歌悲しくも旅より旅に流れ行くらむ。

地

朝寒に里の川邊に米とげば捨てゝありけり笹の小舟を　福島縣　永島ちよの

評　鋏をとぐ父を待つ間に幼子の作り置きしか笹の小舟は

人

初栗を拾ひ來しとて妹の笑顏愛らし秋の夕暮　群馬縣　近藤　美喜

評　妹の手柄話に家人はゐろりかこみて栗を燒くらむ

賞外

裏山は遠く霞みて唯一人畑打つ鍬に夕日かゞやく　岩手縣　佐藤　笑子

コスモスの咲き盛りたる道の端に子等を遊ばし母は稻刈る　熊本縣　鶴野しゑ子

我肩に細き身支へし姉見れば涙する目のあひて淋しき　香川縣　高木比佐子

鐘の音の淋しく消ゆる秋の野をうなだれて行く人影さびし　神奈川縣　小澤ひろ子

露しげき千草の蔭にこほろぎの鳴く聲さへて夜は更けにけり　香川縣　大山　靜江

相泣きて別れける夜に似たる月わが髪照らす初秋の閨　宮城縣　佐藤　操

まゝ母の怒りに妹白壁によりて泣く夜を月の冴えけり　福島縣　生江哀涙子

かさこそと夜の落葉の音輕く淋しき秋は音づれにけり　府下　田村百合子

栗刈りの手をば休めてはら〳〵と林に栗の落つる音聞く　岩手縣　脇坂　菊野

細り行く虫の音聞けばこと更に冬着の支度心せかれて　群馬縣　橋本登久子

稻つみてかへる小川に月影の冴えて黃金のなみの美し　島根縣　山根ふさの

常日頃母が敎へし言の葉を守りて日々の仕事勵みぬ　群馬縣　柳岡　郁子

殊更に樂しきあとに何となう涙ぐましき心淋しき　滋賀縣　中川とら子

鍬を持つ手つき上手になりたりと老ひたる父はほゝ笑まれけり　岐阜縣　竹腰よさ枝

チロ〳〵と萩の下葉に啼く虫の聲もすがれて秋深みゆく　群馬縣　對比地こう

足洗ふ釣瓶の水に病葉の一つまひ落ち鈴虫の鳴く　長崎縣　田川はな子

稻刈りて遠き路をばいそぐ時露の光りて五位鷺の鳴く　長崎縣　東　多惠子

なつかしき古里遠くはなれ來て異郷に暮す心寂しも　名古屋　鈴木榮都子

色あせし千草の中にこほろぎの鳴く聲ほそく秋ふかみゆく　甲斐　すみ子

手折りたる花をひそかに頰にあてほゝえむ乙女愛らしきかな　群馬縣　山口　艶子

亡き父のめでにし菊の一枝を折りて手向けぬみ墓べの前　滋賀縣　田原しづ子

みなし子の娘柱にもたれつゝ涙にむせぶ秋の夕ぐれ　岩手縣　菊地　粲子

兄を待つ夜更の室に妹の喪言淋しく寒さつのりぬ　廣島縣　沖元　艶子

田の面に人影もなく晩秋の風にひら〳〵紅葉散るなり　鳥取縣　小原しげ子

夕まぐれ野道たどればゆるやかにあたりの家に夕煙立つ　長野縣　野　菊

唯一人旅にある夜の月寒く露に輝く光冷たし　熊本縣　浦田　茗子

秋の夜もいつしかふけて虫のこゑさびしくひゞく木の葉散る夜　福島縣　小柴　房野

にはとりの聲にあけゆく冬の山の彼方に有明の月　長野縣　瀧澤やよ子

をちこちの山は紅葉に包まれてさぎりの中に舞をまへるも　福島縣　梅津みや子

秋風にゆら〳〵ゆれてこの秋も赤きコスモス庭をかざりて　神奈川縣　廣野とし子

新らしき涙わき出ぬいく度かぬかづき馴れし墓の前にて　靜岡縣　風岡富士子

霜白き井戸のほとりに水くみて菜洗ふ人の指の赤さよ　宮城縣　本岐あい子

今朝も又雨戶くりつゝ目さむやと亡き弟を思ふはかなさ　群馬縣　小林　菊子

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

村しぐれ四方の山々染めなしてもみぢ色濃くなりにけるかな　宮城縣　二階堂たかを

咲きのころ花の梢に行く秋を惜しむに似たりこほろぎの聲　香川縣　石川ヱイ子

きら〱と月にきらめく相模灘つり舟一つうごく見えけり　神奈川縣　山下惠美子

しつとりと夜露にぬれて夜刈田ゆ戻れは小犬なきてむかへぬ　長野縣　窪田ちゑ子

母なしと淋しく語る我友の聲に思はず涙ぐみけり　香川縣　柴田たつ子

亡き父の世にありし日をしのびつゝ針もつ手先しばしみつめぬ　福島縣　水野　勝代

コスモスの散りゆく庭に佇みて身の行末を思ふ夕ぐれ　神奈川縣　梅本ふか子

○選後に

松崎ひろの

皆さんのお歌を拜見してからまだ二三ヶ月にしかなりませんが日に月に進境の著しいのは、ほんとうにおどろかれます。文藝專門の雜誌で皆さんが、毎出詩歌に親しまれて居られるならば、兎も角、多くは家業にいそしまれ、父母の手助けをして居られつゝの御勉めとしては、ほんとうに敬服の外ありません。

然しよく考へてみますと、歌の上手下手は、技巧ではありません、皆さんの心です、自然に親しみ、純潔な心に育つてゐる人は、もう歌よみの資格のある人なのです。鎌をつかひ鍬をもつて野に働いてゐる時にいゝ歌が生れます。生活の美化、是がなくてはいけません。つまり歌も一つの修養の輝きでございます。新年號にはもつと〱面白いのを送つて下さい尙俳句も近頃大變白くなつて來ました。俳句も歌と同じことです。その中古今の歌や俳句のお話しも致しませう。

處女俳壇

賞

月冴えて柿の葉落つる音淋し　福島縣　平山いその

宵闇に仰げは一つ流れ星　山口縣　淸水　菊子

賞外

あぜ道に馬の一聲秋の暮れ　福島　佐藤ふき子

月冴えて針の手寒き霜夜かな　宮城　平岐あい子

秋の日にゴマの實拾ふ雀哉　香川　高木比佐子

夕日さす障子に菊の移りけり　宮城　二階堂たかを

稲刈や畔に鎌置き車げかな　滋賀　中川とら子

杯に受けても見たき菊の露　香川　高木　梢子

雁渡る夜は靜かにて月冴ゆる　福島　生江哀涙子

傘さして雨の小菊のもの淋し　宮城　佐藤　操子

寒月や殘れる菊の露白し　熊本　浦田　苓子

かさこその雨戸をたゝく秋の風　福島　鹽澤のぶ子

遠近に野の幸聞ゆ豐の秋　香川　高木　英子

土臭き手に處女の友讀む幸よ　岩手　佐藤　笑子

渡場に女こぎ行く秋日和　青森　小野寺みす

月涼し須磨に潮汲む女かな　靜岡　片平　乙壽

故郷の母なつかしき月の夜　群馬　柳岡いく子

赤城根に月すみ渡る秋の夜　群馬　小林　菊枝

秋の水柳の枯葉流れ行く　山梨　照　子

かろかやにトンボとまれる秋日和　長野　野　菊

秋風の冷たく通ふ野風呂哉　福島　みどり

池水に姿うつしぬ十日月　香川　大山　靜江

夕風に稲田見まわる農夫哉　香川　石川ヱイ子

木枯に野邊の草花しほれ果て　鳥取　小原しげ子

秋の夜に針もつ手にも處女の友　長野　瀧澤やよ子

鎌を手に朝露ふみていそぎ行く　福島　小柴　房野

◎冠字祝吟

○祝ひ日の續いてうれし秋日和

○處世訓讀んで聞かせろ夜長かな

○女教師の机に菊のかをりけり

○のぼり行く人の小さし秋の山

○友達と手に手をとつて踊りかな

○のぞまれてする怪談や秋の夜

○盛會の演說會や菊佳節

○大利根の流れに淡し秋の月

栃木縣　山中淺一郎

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

誌友くらぶ

はがきのことおくれた方は次の月

△「今年は今年はとて暮れにけり」何だかとりとめもない一年が終りを告げやうとしてゐます。追ひかけても走り行く月日の足の早さをどうする事も出來ず、たゞ〳〵讀者の皆様が御機嫌よう年を重ねられ目出度新年に再び處女の友で御交りすることを樂しみにしてゐます（記者）

△宮城縣の牟岐愛子さん二階堂たかをさん鳥取縣の小原しげ子さん御細々とお手紙有難うございました（ひろの）

○私は處女の友を六月號より拜讀さして頂くやうになり、誠にうれしうございます。先生及び誌友のお姉様よろしくお導き下さい、三豐郡二ノ宮村高木きぬ様同縣でおなつかしうございます（香川縣山川）

○私は工場長様とお別する時に處女會員の全部はメタルを頂きました、其日から二三日たつてお別のお話に皆さんは胸に下げて居るメタルのやうにいつまでも心を光らせて下さいとくれ〴〵も云はれました、それが私の耳にまあ何といふ有がたいことばでせうと感じましたからこの言葉に從つて心を美しくしやうと毎日思はない日は一日もありません（神奈川縣保土ヶ谷工場工女）

○私は會津の片田舍に、自然を相手に暮すことに滿足して居る一人で御座います。本月より本誌と親しむ事になりました、何とぞ友達として可愛がつて下さい、未筆ながら記者先生及皆々様の御壯健を祈ります（會津坂下局下青津生江哀涙子）

○紺碧の空に出た銀色の月皎潔なる月の光あの澄み渡つた淸らかな月は私等に何を敎へて居るのでせう潔白であれよ自らの心に曇りなかれと尊い敎訓を與へて居ます、あの神々しい光り優しい輝は恐らく天地間のあらゆる光彩と崇美とを集めた理想の女神ではありますまいか、私等は尊い敎訓を味つて平和で淸い女の道を辿らなければなりません（長崎縣西彼杵郡三重村田川はな子）

○私も農家の一靑年であります妹が十月號よりの愛讀者となりましたので私も讀んで見ました、始めて見た處女の友の記事がいかにも健實で處女ばかりで無く男子が讀んでも面白いと思ひました「靑年より處女へ」は靑年男女の最も注目すべき有益なる記事だと思ひ心留て讀みました（長野縣上伊那郡　有賀豐）

○先日吉岡先生へお願ひ申して置きました件今以て御返事が參りませぬ此れは此方へお返事下さらず處女の友へお出し下さるのでせうか（前橋古町　かく子）

△最近の書類を調べましたが手許にありません、吉岡先生に（東京麹町區飯田町四ノ三一至誠病院宛）直接か又は處女會中央部宛にか今一回御住所を明記してお手紙下さい（記者）

○私は勉强がし度くて東京の大妻技藝學校に入り度いと思ひます母もなるべく自分のすきな所にやり度いと申しますのですが何しろ遠方で金のかゝる事で種々委しい事をお聞したいと思ひますどうぞ大妻技藝學校の番地をお知らせ下さい（北海道白人村　內海千代子）

△大妻技藝學校は東京麹町區上六番町七番地にあります直接規則書を送つておもらひになれば委しい事がわかります。（記者）

○暮れ行く空に輝く星の消き姿に燃ゆるが如き戀を以て惱める人々をお救ひ下さる女神と仰ぐ松代様何卒お身御大切に先日も天野先生のお話に愛は無盡の玉だと申されました大連の松代さまに（群馬天笠しげよ）

○記者様始め誌友の諸姉様御かわりはございませんか、私は三河の片田舍に住む處女です、どうぞよろしくお導き下さい（愛知縣北設樂郡三輪村　大原靜子）

○記者様お變りありませんか私は五月より愛讀者となりました、私は處女の友を無二の友として此の都に淋しい日を送つてゐます愛讀者の皆様どうぞ御交際下さい（宮城縣仙臺市北材木町佐藤操子）

○記者様初め誌友の皆様初めて紙上にてお目にかゝりますこの四月から藤野つれ子様のおすゝめで愛讀者になりました良き友を得て毎月樂しみにしてゐます（富岡村下富　田口富美子）

○私は實業補習學校に通つてゐます、皆様の先生が大變親切に敎へて下さいますのでよろこばしく思つてゐます（岐阜縣安八郡安井村築捨淺野たい）

○記者様初め皆様お變りもなく毎月おなつかしき御便り有難う御座います。誠に失禮ですが粗末な繪葉書をお送りいたしますから皆様にお目にかけて下さい（長野縣諏訪郡平野村傘組工場　安江すえ代）

△繪葉書ほんとに有がたうございました、

○まあお氣の毒なやす代さん、人

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

知れず同情の涙に袖をぬらして居ります。宮城のたかを樣、あい子樣度々お便有がたう存じます同村の爸代さん御きげんよろしうどし〳〵投書しませう(鳥取縣西伯郡小原しげ子)

○記者樣何卒淋しい弱いこの私を御導き下さいませ、やさしい〳〵處女の友どんなに私の暗い心に光をあたへて下さる事でせう愛讀者の皆樣お交り下さいせま高知の山里の子です(高知　山崎しづ子)

○私は處女の友を拜見するやうになつて自然を友として田園生活を樂んで居ます記者樣貴會から雜誌を買はない者は誌友になれませんか又、歌など投書してはいけないのでせうか(長野縣東筑摩郡五常村　山田りく)

○處女の友を讀んで下さる方は皆誌友です又どなたでもどし〳〵投書なさる事を望みます(記者)

○私は處女の友を愛讀いたすやうになつたのは四月號よりでございます、これよりこの御本を友としてよい處女會員となりませう(福島縣安達郡針道村髙橋すい)

○私は此頃本誌の愛讀者となりました誌友の皆樣どうぞよろしく御導の程お願ひ致します(山梨縣照子)

○記者先生初め誌友の皆樣お變りありませんか私の福浦村では青年團處女會小學校の聯合運動會を行はれました仲々の盛大でした、處女の家事競走、提灯競爭、淸潔道路いづれもかつさいをうけましたバスケットボール眞實に面白う御座いました(福島縣相馬郡福浦村阿部みどり)

○天野先生お變りもなくほんとに嬉しうございます先日は美しい繪葉書有がたう存じます、本月號に先生のこの注文を開けば私にどれだけ喜をおあたへ下すつたかわかりません(香川縣三豐郡大野原石川もと子)

○淺からぬ心づくしも水くきのかきならしたるあととこそしれ」古人の歌をひいて左のおやさしいみな樣に愛子の感謝のことばに致します。

千代子樣、よそ枝樣、さめ子樣、とら子樣、こう子樣、ふさの樣、しゑ子樣、比佐子樣、しげ子樣、ゑみ子樣澤代樣、(宮城あい子)

○私は小田の片田舎に生れた農家の娘で不束者でございますがどうぞ宜敷お導き下さい(愛媛縣上浮穴郡小田町村　梅川登美子)

○愛媛の橋本澤代樣同姓でほんとに私もお慕ひしてゐましたのどうぞ御文通をお願ひいたします、秋田の對比地こう子樣勢多の姉樣方おなつかしうございます益々お振ひ遊ばせ宮川畔の鈴蘭樣何といふ美しいお名前の方でせう(群馬縣佐波郡剛志村橋本登久子)

○記者樣我が神川の運動會も近づいてまゐりました青年、處女、小學校の生徒に入りまぢつて體操遊戲、等いたす其の面白さ口にも筆にもつくされません天野先生其時は神川へもお出下さい(群馬縣　近藤美善)

○朝夕はお寒くなりました。記者樣お健やかにお暮し遊ばされますか私は昨年の十月より愛讀者になり今では野に働く事の幸福を思ふやうになりました、豐濱小學校の龍舌蘭の繪葉書お送りいたしますから御覽下さい(香川縣三豐郡大野原　柴田たつ子)

△繪葉書ありがたうございました(記者)

○いさゝかお寒くなりました記者樣お變りなき事と存じます、私の本箱には十一册の處女の友が積りました、いつも〳〵有益な記事ばかり拜見して私はほんとに幸福でございます朝まだき起き出でゝ田に終日働き歸りて草むらにすだく虫の音を聞きつゝ處女の友を播く時ほんとに樂しみでございます(熊本縣　鵜野しゑ子)

○お氣の毒な艶子樣私も同じ運命のもとに泣く一處女で御ざいます、實に父母なき悲しみは何物にも例へられません我身に引くらべておいたはしう存じますけれども皆運命とあきらめて末頼母しき御兄妹又は一家のためお勵み遊ばすあなたの御心が通じて前途光明ある事をいのります(和歌山　石井ゑい子)

○十月號の處女の友に一身を捧げてといふ題で私の作をお載せ下さいまして有難うございましたます〳〵努力いたします(福島縣　金山渓水)

○愛媛縣の橋本澤代樣十月號でお懷しい言葉有難う御座いました溫い御心で末永くお導き下さいますれば淋しい子はどんなに喜ぶか知れません(岐阜縣武儀郡坂の東村　竹腰よさ枝)

○朝夕に寒さ身にしむやうになりました、記者樣初め誌友の皆樣お壯健ですか毎號有益な記事ばかりおのせ下さいまして有がたうございます(北海道余市郡山道村　山本とく子)

○私は昨年七月最愛の妹を失ひ永久に別れて淋しく暮して居りましたが十一月號より處女の友の愛讀者になり、互いお友だちを得てよろこんでゐます(靜岡縣田方郡田中村　山口艶子)

○お百姓の戰爭ともいふべき取入が目の前にせまつて居ります、からだを大切にしてこの戰にむかひませう、毎號お振ひ遊はす三重の鈴木樣東京の田村樣お差支なくばお交り下さい(群馬縣新田郡九合村　對比地こう)

○先生結婚の際葬式の際御挨拶の仕方を敎へて下さい(福島縣安達郡

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

戸澤村　熊谷はるの）

△結婚の際は「御良緣で誠にお目出度うございます」

葬式の際は「誠に御愁傷でさぞお力落しでございませう」（記者）

○記者樣始め誌友の皆樣お障りもありませんか私は西伯の片田舍の處女でして三月號からの愛讀者ですどうぞよろしく御指導遊ばして下さい（鳥取縣西伯郡渡村字大澤　門脇みつ子）

○處女の友が大好きそして先生も大好きですわ……先生愛讀者の諸姉樣方——田舍の子をお仲間に入れて下さい——先生私の投書も載せて下さいませ（神奈川縣足柄郡上郡櫻井村柳山　小澤ひろ子）

△どなたでもお上手に出來ますれば載せます（記者）

○同縣の石川もと子樣、大岩須江子樣、高木比佐子樣おさしつかへなくばお交り下さい、島根の山根ふさの樣おなつかしう御座います、隔[illegible]の村上いし子樣十月號のお歌貴女と私と變つてゐましたねえ（香川月見草）

△十月號の歌は違つて居ないつもりです歌の終にお名前を置く事にしましたからお考へ違ひでせう（記者）

○はかない思出に消へ行くこのなつかしい大正九年も唯追憶の糸に過去を偲ばねばならなくなりました。旅に流浪する身は一入の秋思、堪え難くて泣きたくなります。私は淋しき心を唯處女の友に依つて慰めて居ろので御座います。どうぞ永久にお導き下さい（靜岡縣駿東郡小山町富士瓦斯紡績會社　齊藤ゑつ子）

○記者樣如何お過しなさいますか、先日中央部宛に乙女の操をお送りしきした届きましたか？　滿鐵病院の福井松代樣旅順戰跡の繪葉書澤山誠に有難うございました（島根縣大原郡佐世村　和久利滋秀惠）

△乙女の操有難うございました（記者）

○天野先生には如何お暮し遊ばされますか、先頃故郷から先生が此外私たちの處女會にお出席下さるといふ便りを得ました、今は此處に居りますが、先生のお出の頃はたのしい岐阜の故鄕へ歸ります、そして白雪深い岐阜の山にお出をまつてゐます（尾張一ノ宮片倉内新津處女會員）

○亂筆御免下さい、私も本年の六月から處女の友のお仲間入りさせて頂き、嬉しく存じます、月末の來るのを指折かぞへて待つて居ます（福井縣大飾郡和田村　大見いと）

○天野先生には御健勝にて我等のために御身をお盡し下さいますことゝ存じます、私は一月號よりの處女の友愛讀者であります、來春は私共のためにはろ／＼お出下さいますと承りましたがほんとに嬉しく存じます（岐阜縣武儀郡坂の東村　田口かめよ）

○御懷かしき天野先生私は赤城根の淋しい片田舍に住む一處女で御座います御誌のなやめるきみ子樣を大いに同情致します何卒先生きみ子樣へよろしく御傳へ下さいませ（群馬縣勢多郡大胡町　小林喜久代）

○私は箕輪村農村の處女で本年十一月より本誌を愛讀して限りのない樂しみとして居ります、記者樣益々本誌の發展を祈ります（福島縣石城郡　小笹ますえ）

○天野先生御變りは有ませんか御伺ひ致します我が富岡村では去ろ十月廿日に處女會役員會が有ました此の時私は此の有益になろ處女の友を持つて行きまして役員の皆樣に見て頂きました處皆樣は大へんよい本だと悅んで頂きました早速川口とく子樣粕谷さだ子樣愛讀者になつて下さろとの事で御座います一寸御通知致いたします（埼玉縣入間郡富岡村　藤野津根子）

○記者樣始め誌友の諸姉樣には御變は御座いませんか私事つれが何か誌上にのせて戴きたいと思つて居りましたが何にもありませんでした（福島縣石川郡母畑村字東　鹽澤ノブ）

○記者樣はじめ誌上の皆樣は無事でいらつしやいますか、御誌を拜見致す樣になりましてからは身も心も生々してたのしい月日を送つて居ります。皆樣どうぞよろしく願ひ上げます（宮城縣登米郡石越村　富塚ときわ）

○この淋しい山村にも秋がみちて來ました記者樣おかわりはございませんか。私は記者樣のおほれをりの處女の友と親しい交をするようになつてから農事に親みはたらいて居りますどうか記者樣どこ／＼までも御導きを下さい（滋賀縣蒲生郡市邊村布施　田原しづ）

○編輯部の諸先生樣にはお健やかでゐらつしやいますか妾は青年團の方からのお奬めによりまして九月號から御誌の讀者のお仲間入りをさせていただきました毎月二十七日の頃が參りますと早く翌月號の顏が見たいので郵便配達夫をたまらなく待ちますどうぞ遲れぬやうにお送りのほどを只管お願ひ申し上げます（滋賀縣神崎郡八幡村大字長勝寺　淸水歌子）

○私は片田舍の女でムいます十月より御誌の愛讀者となりました御誌を無二の友としておりますどうか皆々樣よろしく（香川縣香川郡淺野村井下いよ）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

編輯だより

□「大三十日定めなき世の定め哉」年々にめぐり來る年の暮に際し、愚痴もあり悲しみもあり、過去一年が繪卷物のやうに、眼の前に現れます。皆さんと共に雄々しく勇ましく大正九年を送り、そして新しき希望に輝く大正十年を元氣よく迎へませう。

□追々に堅實に進歩しつゝある處女の友を、ます〳〵充實させて下さる事を心からお願ひ申し、大正十年度の本誌の活動に付き、今から胸をおどらせてゐます。

□岡山縣苫田郡阿波村山本彦四郎氏より、阿波村處女會一夜講習の會場の寫眞を送つて下さいました。

□山梨縣東都留郡さかひ婦人會から「銀鈴」といふ雜誌を送つて下さいました、ほんとによく出來てゐます。

□靜岡縣田方郡田中村婦女會古見會長から、「まごころ」の敎育勅語紀念號をお送り下さいました。誠に有益な記事であると思ひました。

□廣島縣沼隅郡では去る十一月二日郡處女大會を開き大變盛大であつたさうです。

□巣鴨の東亞綿絲紡績會社の辨天祭に就き中央部より田所理事並びに評議員吉川民子女史が出張されました。

□神奈川縣保土ヶ谷工場では大變盛大な大會がありました、中央部から田所、天野の兩理事出張され非常に面白く有益な會であつたと申されました。

□福岡縣朝倉郡久喜宮小學校の古賀益城氏より度々有益なる資料を送つて頂きましたほんとに有がたうございます。

十一月號の考へ物答

「露多く鑛山學校名も高く稻もたわゝにみのる〇の〇」この〇印には秋と田の字を入れて秋田縣といふのであります抽籤で左の人々へ賞品をあげました

大分縣西國東郡後藤ふみ、三重縣飯南郡太田すつ、滋賀縣伊香郡犬飼きく、青森縣下北郡佐々木ちよ、福島縣大沼郡齋藤みゑ、廣島縣蘆品郡橋本滋子、宮城縣牡鹿郡大久保さと、長野縣埴科郡上田品子、兵庫縣赤穗郡齋藤光子、神奈川縣橘樹郡遠藤あさ、長崎縣北高來郡金子ろく、新潟縣南魚沼郡大原しゆん、茨城縣新治郡田中敬子、靜岡縣富士郡金子とも、鹿兒島縣肝屬郡岡峯くさよ、福岡縣鞍手郡中村みち子、埼玉縣北足立郡村松峯子、栃木縣河内郡入江ふさ子、宮崎縣東諸縣郡森本すみ、德島縣阿波郡池田きく子、岩手縣上閉伊郡佐藤きみ、福島縣河沼郡小柴房野、神奈川縣橘樹郡梅木ふゆ子、北海道石狩國原玉子、長崎縣東彼杵郡板倉まつ子、兵庫縣神崎郡河野なみ、奈良縣生駒郡堀尾ぎん、岐阜縣本巣郡守屋あさ、靜岡縣富士郡杉澤きん山梨縣南都留郡伊藤とき、福島縣伊達郡菊地ミサ子、愛媛縣南設樂郡近藤弓子、岡山縣吉備郡岡村まさ、高知縣吾川郡傍士猪兎、

考へ物新題

新題　二十三の國と十三の國あり何國と何國でせうか

締切十二月十日。本鄉區元町處女の友發行所宛のこと、答はハガキに限る。其の他の投稿も凡て發行所宛のこと

毎月一回一日發行

定價表

册數	定價	郵税
一册	拾八錢	五厘
六册	壹圓八錢	不要
十二册	貳圓	不要

註文規定

〇註文はすべて前金のこと
〇送金は振替が便利で安全ゆへなるべくこれによられたし
〇郵券代用は必らず一割增のこと
〇前金切の時は帶封に「前金切」と印しおくゆへ直に送金せられたし
〇送金のときは第何月號より第何月號迄と明記せられたし

大正九年十一月廿七日印刷
大正九年十二月一日發行

發行人 印刷人　東京市本鄉區元町二ノ六六　田所楠猪
編輯人　東京市神田區小川町三十六　天野藤男
印刷所　東京市麴町區紀尾井町三番地　成巧社印刷所

處女會中央部

發行所　東京市本鄉區元町二ノ六六　處女の友發行所
振替東京六一九〇番
電話小石川四三八四番

大賣捌　東京堂、北隆館、至誠堂其他

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女之友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

前共立女子職業學校教師
遠藤錠子 高田久子共著

新編裁縫全書 上卷（着物の卷）

和裝菊判美製
金貳圓參拾錢
郵税金十二錢

最新刊

新らしく生れ出でた此裁縫書は從來からある多くの書よりも勝れて居ることは申すまでもありません。本書は多年教授上の經驗と其の技に實地熟達せられし兩著者が如何なる初心者にも手に取る如く分り易き樣に苦心を重ね、あくまで丁寧と親切を以て說かれ、其上に圖は現寸を比例して縮め、一目の下に解りよくなし、又圖を度るに重寶な尺度付の枝折をも添へ尙卷末には特に參考の部を設けて、最新の研究に係るものを配載し、時勢に後れぬことを期してあります。裁縫を學ぶ方々は本書によりて初めて滿足な上達が出來ることを疑ひません、婦人、令孃、學生、諸姉の良師に又教授者の參考に一本を備へられんことを望みます。

女子高等師範學校助教授
神田順子著

裁縫新教授書（上卷）

和裝菊版
定價金壹圓五拾錢
郵税金十二錢

東京市日本橋區通一丁目
大倉書店
振替口座東京二三八番

青年の書

大久保四州著（第十四版）

青年訓話 軍神乃木

乃木將軍の感化の力の偉大なる事は本書が日に新に熱狂的大歡迎を受くるによりても知らる。

定價五拾錢＝送料四錢

月刊雜誌 帝國青年

青年の好伴侶▲指導者の研究舞臺▲修養研究向上娯樂▲青年團の連絡▲

定價一部二十錢送料一錢▲半年分一圓廿錢▲一年分二圓三十錢税共

青年團中央部編纂
第四回青年團講習會講習錄

新時代の青年團

新時代に處して青年團體を如何に指導すべきかの問題は二十有餘大家の權威ある講演に依り解決さる

定價一圓五十錢＝送料六錢

青年團員手牒

定價十二錢＝送料三部迄二錢

帝國青年の歌

定價五錢＝送料九部迄二錢

青年團體操

定價五錢＝送料四部迄二錢

緬羊の飼ひ方

定價六十五錢＝送料四錢

東京市赤坂區溜池町三十一　帝國青年發行所　振替口座東京二一一六八番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

創刊十五年地方振興民力涵養の機關

斯民

十二月號

一部卅錢 一年三圓六十錢

- 憲政と自治の精神……床次内相
- 小農保護の急務……力石雄一郎
- 自治振興の第一義……塚本局長
- 都市生活と教育……田子一民
- 英國の印象……國府種德
- 新講談 島井宗室……天野雄彦

△北海道、東北(六縣)新潟、岐阜、山口各府縣の會員讀者諸君には特に地方版を配布す

- 富者階級と貧者階級……村田宇一郎
- 一夜講習と學校共同團體……山本瀧之助
- 國民教育費國庫支辨論……繁田武平
- 社會事業と民衆の覺醒……玉井廣平
- 農村指導改善の第一步……米澤英三
- 民力涵養いろは歌……永井貫之
- 結婚に關する改善事項……
- 各地町村長會彙報……
- 石川縣に於ける大講演會……
- 明治神宮鎮座祭……
- 村民の安息日……

栃木縣河內郡長 入江操先生編 三六版總布裝 定價一圓送料二錢

優良町村及青年團產業組合 視察の栞

優良町村、青年團、產業組合視察の栞となさんが爲め內務省社會局に於て、各府縣に照會して得たる最近の調査に基き編纂せるもの視察者に取りては唯一の信憑すべき好侶伴たらん。

選奬の實際

添田前地方局長序 近藤行太郎 今野拓民 合著

(最新刊) 定價二圓五十錢 送料十錢

著者は多年內務省市町村課の當局者として、全國市町村の實狀に通ずる事恰も嚢中に物を探るが如く、其の長短優劣一として知悉せざる所なし。隨て全國町村に就き其の現狀に就て深く憂慮する所あり內務省選奬の優良町村に就き其の選奬さるゝに至りし眞因を究め之を世に闡明して、未だ選奬さるゝに至らざる町村に對し、絕好の資料を提供せんことを期し、繁劇なる公務の餘暇を以て奮勵努力此に本書を成せり。されど自治の當局者は勿論地方有志者に取りては、眞に座右の寶典と稱すべき良書なり。敢て江湖に推薦す。

發行所 東京市赤坂區溜池町三十一 中央報德會 振替東京九七〇〇〇

内容見本無代進呈
小野鵞堂習字雜誌
書道研究
文部大臣許可社團法人 斯華會 東京神田猿樂町三
本月號出來

内務省囑託 天野藤男著
定價八十錢 送料六錢
親愛なる農村青年へ
好評嘖々既に十二版を重ぬ地方青年にとりては唯一の指針盤たり敢て之を奬む
東京市本郷元町 丙辰出版社
振替東京三三三〇〇番

賜 天覽 台覽
◉好評六版◉
天野藤男著 内務文部兩大臣其他序
指導經營 研究美績 青年團及處女會
定價二圓五十錢 送料十二錢
—著者が多年の苦心になれる著述にして青年會處女會の好參考書—
東京本郷元町二丁目 振替東京三三三〇〇番
丙辰出版社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

五拾錢の商品券

……お客様方の御便利に

從來商品券は一圓以上なれば如何程迄でも發行しましたが、今度から商品券は五圓以上とし、それ以下は五拾錢の商品券を發行致す事に致しました、また商品券の殘高が十圓以下ですと、お釣錢に此の五拾錢の商品券を差上ます、商品券は益お重寶になりました。

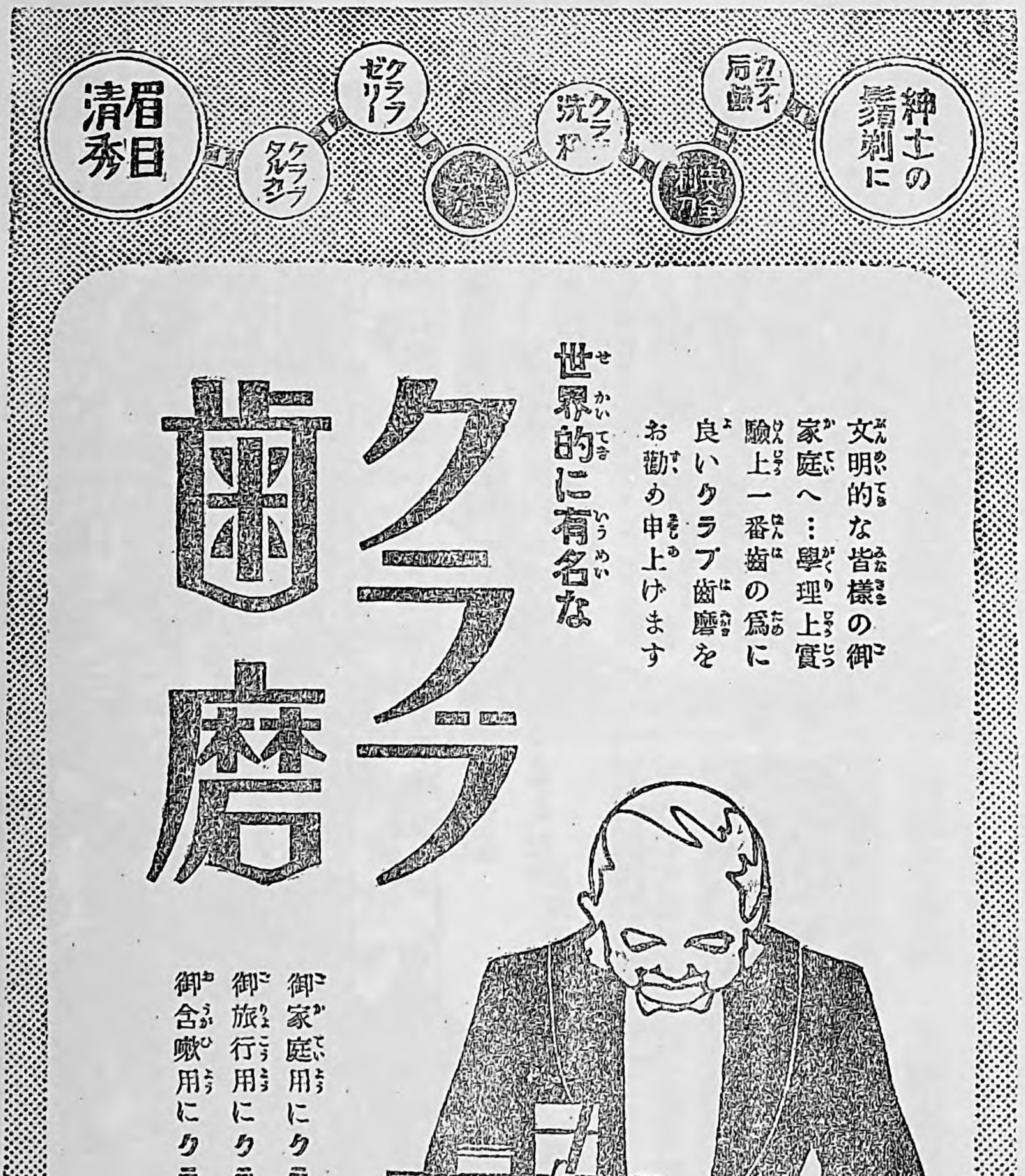
三越の十二月

- 歲暮年始御贈答用品賣出し（一日より）
- 羽子板陳列（一日より）
- 新年用食器陳列（一日より）
- 格安反物賣出し（一日より）
- 十大家陶磁器陳列會（十一日より）

三越の定休日 十月 廿五日

東京

三越吳服店



大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正九年十一月二十八日印刷納本
大正九年十二月一日發行（毎月一回一日發行）

一部定價　金十八錢

處女會中央部

東京市本郷區元町二ノ六六、
處女之友發行所